

その他の各施設について水圧不足、漏れ等があり改修が必用であるが、現在の状況での使用が可能であり、緊急性は無いと判断された施設は下記校である。

KMTC マチコス 2カ所
KMTC キスム
KMTC ホートリツ
KMTC キソイ
KMTC マツカ
KMTC ムランガ

6-1-2-2 機材の検討

「ケ」側より要請された機材は、おおむね本計画の目的達成に必要なものであるが、一部に自動操作型の機材あるいは教育の目的からはずれた研究機材の要請も含まれており、すべてが目的に合致してはいない。また、一方ではKMTCのマスタープランが策定されておらず、このため統一した要請計画となっていない。

これは、KMTCが準国営化への過渡期であり、KMTC本部が各施設の状況を確実に把握していない状況及び日本の無償資金協力の仕組みが各部門/施設まで理解されていない状況から、要請機材が本計画の目的と整合性を完全には持ち得なかったものであり、また、KMTC本部がやっと本腰をいれてKMTC改革に取り組み始めたところでもあるため生じたものと推察される。

6-1-3 協力対象範囲・規模の検討

要請を受けた施設25カ所を調査した結果、施設に付いては8カ所が改修の必要がない事が判明した。しかし、残り17カ所のうち、一部は複数の施設を有しており、特にナイベ校は21棟が改修の必要性が確認されたところから、一度に右施設全部を計画の対象とする事は物理的にも、経済的にも困難と判断された。

一方、KMTCのマスタープランが確立されていないために、施設改修の的確な優先順位も策定できない状況から、本計画における協力対象範囲は、下記の如き優先順位をもって、設定した。

6-1-3-1 協力計画の妥当性の検討

ナイベ医療訓練学校(KMTC)にかかる施設改修及び調達機材は、本事前調査によってこれら施設の老朽化や機材の不足等、著しい不整備が確認されたところから、日本の無償資金協力の実施は妥当性があると判断される。

しかしながら、KMTC側は本年7月以降、その組織の再編成が予定されることから、第4章にて記述した事柄等につき、基本設計時に再確認することが重要である。

6-1-3-2 KMTCの計画実施に係る運営管理能力の検討

F P W

KMTCは、保健省によって現在個別に直轄管理されている各MTCがナイベ校を本部として全MTCが一体となり、94年7月からの準国営化に向け最終準備を行っている過渡期であり、前者の過去の状況は把握し得ても後者の今後の活動の指針とはなり得ず、現時点での評価は難しいところである。しかし、KMTCの総括管理者に指名されているナイベ校の校長以下管理職の人材は能力も意欲もあり、KMTCマスタープラン策定にも積極的行動を起こしており、基本設計調査時には、本計画対象施設にかかる運営管理能力は、評議会の組織決定、マスタープランの策定、保健省の補助金の確定等の諸条件の結果から、良好な判定が確保できるものと判断される。

また、KMTCは現在KMTCマスタープランを策定中であり、「ケ」側が日本側に右マスタープラン策定にも協力を強く要請しているところから、基本設計調査時あるいは派遣専門家による右マスタープランの評価と、「ケ」側に適切なアドバイスを与える事及びマスタープランの実施に対する技術協力を行う事により、KMTCの運営管理能力高め、ひいては本計画の有効性、持続性をより高めるものと確信する。

6-1-3-3 協力範囲・規模の検討

施設の協力範囲

1)対象施設の範囲は、下記の優先順位から判断する事とする。

第一優先順位 KMTCにおける各部門の本部に当たる施設は、すべて計画に含める。

第二優先順位 施設の老朽度の大きいものを、地方分散化を考慮して、順に計画に含める。

第三優先順位 建築が途中で中断している施設を完成させる。

第四優先順位 第一から第三位以外の施設で改修の必要はあるが、緊急性はないと判断される施設。予算が確保でき次第、計画に含める。

2)上記優先順位に照らして次の施設を本計画に含めるものとする。

第一優先順位 KMTCナイロビ校(カカリ校を含む):事務・教室棟は計画に含めない。

KMTCカリ校

KMTCマクル校

KMTCカカリ校

第二優先順位 KMTCナクル校

KMTCンバサ校

KMTCニエリ校

KMTCカカガ校

KMTCホマエイ校

第三優先順位 KMTCカハルネット校

第四優先順位 KMTCマチャコス

KMTCティカ

KMTCキソイ

KMTCマツガ

KMTCムランガ

KMTCホートリツ

各施設を通じて、改修する範囲については基本設計調査の結果を踏まえて決定する事とするが、対象範囲としては下記学校が掲げられる。

要請によるもの

KMTC ナイロビ (カカリ校を含む) 改修 新・増設

KMTC カリ 改修

KMTC マクル 改修

緊急を要する施設

KMTC ナクル 改修

KMTC ホマエイ 改修

KMTC ニエリ 改修

KMTC カカガ 改修

重要地点にあり必要とされている施設

KMTCカハルネット 中断している新設工事の再開

改修が必要なその他の施設

KMTCマチャコス 改修

KMTCティカ 改修

KMTCキソイ 改修

KMTCマツガ 改修

KMTCムランガ 改修

KMTCホートリツ 改修

施設の規模

各施設の改修規模については、各々のサイトの状況により下記2つの改修規模の設定が考えられるが、本計画においては、項目(2)の機能復帰を改修規模の条件とする。
なお、本調査にて確認されたグラウンド・階出入口・窓の鉄格子等の防犯対策及び飲料水の確保は、生活の基本的な問題として考慮する必要がある。

改修規模の設定

- (1) 原状復帰 老朽・破損のすべてを修理し、新設時に近いところまで修理すること。
- (2) 機能復帰 機能重視で、最低限必要な箇所のみを復旧修理すること。
特に本計画では下記の各項が機能復帰にあたる。
 - *漏水の防止
 - *天井等剥落箇所のみ修理
 - *窓ガラスの破損箇所のみ修理
 - *給排水衛生器具の交換
 - *学習に必要な程度までの照明の復旧
 - *極端な汚損箇所の塗装

機材の協力範囲

機材の対象範囲は、「ケ」側の要請を踏まえ、現地調査にて把握されたKMTC卒後の就職先であり、かつKMTCの実習機関でもある中核病院の機材整備状況及び機材の必要性に見合った機材計画を行う事が必要且つ妥当なものと判断された。

1)対象機材の範囲は、下記の優先順位から判断する事とする。

- 第一優先順位 KMTC各部門の本部に必要な機材の整備
- 第二優先順位 地方分散化及び準国営化以降に統廃合の可能性を考慮した機材整備
- 第三優先順位 施設の改修及び増設によって生じる必要な機材の整備

2)上記優先順位に照らして次の機材を本計画に含めるものとする。

- 第一優先順位 KMTCナトリウ校、カワ校、マル校の各学部の機材整備
- 第二優先順位 (1)上記以外の全施設における看護学教育機材の整備
(2)上記以外の実験室を有するカワ校及びカカ校における臨床検査教育用機材の整備
(ただし、KMTCマスタープラン確立により臨床検査部門の統廃合が明かとなり、且つ実験室が確保された場合は、その施設の機材整備も含める事とする。)

(3)ナトリウ校以外の臨床医学教育用機材については、臨床実習を行うには患者と診療施設が必要であるが、右各学校には施設がないところから、今計画には含めない事とする。

(4)ナトリウ校以外の施設における環境衛生学の公衆衛生士教育コース教育機材については、特に学内実習を必要としないところから、本計画ではこれを含めないものとする。

第三優先順位 改修計画に含まれる対象施設に必要な車両を機材計画に含める事とする。

機材計画の規模

- 1)看護教育機材については、日本の標準看護教育機材(添付資料-7)を基本とし、「ケ」国の標準看護教育機材リスト所有の可否を確認し、これを参考として計画策定する事とする。
- 2)他の機材計画については、基本的実習を重視し、卒後現場での実務機会の少ない実習機材は含めない事。ただし、国家開発計画の中で重点目標としている掲げられている下記各項目に関する教育機材については、将来教育を含めたものとする事。
 - a. プライマリヘルスケアの充実を目的とする
 - b. AIDS対策を目的とする
 - c. マリア対策を目的とする

参考として、各MTCに隣接する医療機関を調査した結果の右各医療機関に既存または装備が必要と判断される、「ケ」国中核病院標準医療機材表を作成、添付資料-8に記したので、これを基準として本計画の機材計画に使用されたい。

- 3)要請に含まれていない項目について
「ケ」側の要請書にない項目としては、6-2-2-17以降6-2-2-24までが含まれる。
これらの各項目については、事前調査時に「ケ」側からおおむね賛同の意を受けており、日本側の検討にて内容は計画できるものであり、本計画の効果を上げるには必要な条件と判断されるところから、これらを計画に含めるものとする。

特にKMTCA校診療所については、新施設を計画するところから、現在分散している臨床検査室の併設、X線診断室、薬局等を含めたものとする。また、医療サービスあるいは実習によって発生する医療廃棄物の処理を考慮し、焼却装置、滅菌装置を計画する事。

また機材については、要請機材の目的を全うする場所の確保がなされていない状況、計画の目的が各施設/部門で良く理解されていないために要請に必要機材が含まれていない状況、共有化による機材の共通化に気がつかなかった状況等から、「ケ」側の要請及び現地調査の結果を踏まえ、協力対象範囲・規模を確定すべく添付資料の如く機材リストを策定した。

6-1-3-4 計画実施の効果・自立発展性

計画実施の効果

本事前調査の結果、KMTCAを始め、地方各校とも施設及び訓練機材の老朽化が進行している事が確認され、その改善/整備にかかる無償資金協力の実施は、妥当かつ緊急性のある時期を得たものと判断される。

KMTCは全国25校から構成されており、「ケ」国における約90%の医療従事者養成機関としては中核的機能を有するものであり、「ケ」側が要請した在校3校のみならず、調査団が緊急にその改修が必要と判断する地方校に対しての協力を実施する事は、KMTCにおいて養成される大部分の学生の教育環境の改善となる。すなわち、右協力は、学生/教師のレベルの向上、「ケ」国の医療従事者のレベルの向上のみならず「ケ」国における医療サービス・レベルの向上にもつながり、特に地方医療強化につながる事が確認される所から、その裨益効果は大きいものと判断される。

一方、これまでKMTCは、保健省が全国25校すべてを個別に統轄し、教育内容やコースの設置、予算配分等をすべて管理していたところ、KMTC法(The KMTC Act)によってKMTCを本部とする準国営機関(self-governing institute)として独立した組織に移行される事が決定しており、1994年7月(新予算年度月)よりその施行が予定されている。

同状況からKMTCは、理事会による政策・方針決定、及び財務管理及びインフラ/ソリューションの確保等が可能となり、現在KMTCマスタープランの策定を急ぐと同時に日本側へもマスタープラン策定に協力を強く要請しているところから、本計画の実施は右マスタープランの効果的策定及び実施を通して、運営維持管理体制の確立、収支バランスの調整等の推進に大きく寄与するものと期待される。

しかしながら、対象施設の実施体制の如何は本計画実施後の運営・維持管理に大きく影響するところから、その体制移行状況及び移行後の運営・維持管理状況を基本設計調査時により確実に確認する事が肝要である。

自立発展性

94年7月よりのKMTC独立採算化は、政府が自ら勧めたものではなく、各MTCが望んできた条件が政府に承認された形で進んできたものである。すなわちKMTC自らが自立発展を望みかつ成功の確信を持ったが故の変革であり、意識の上では充分と判断される。

加えて、KMTC管理者はKMTCの現状を充分認識しており、管理能力の不足を自ら指摘すると同時に日本側への指導を要請しており、かつ自己研さんにも意欲を燃やしているところから、日本側からの技術協力は、自立発展への大きな原動力となるものと確信する。

しかし、収入源の規模が予測できず、政府からの補助の規模も明確でない現在、本計画による施設の改修が一次的に維持管理費用の削減につながるとはいえ早晩これらにも維持管理費用を用意する必要は発生する。

また、機材の整備により消耗品費の増大は明らかであり、財政面での自立は、まさに収入源の確保と政府補助金の金額による条件及び経費削減政策の実行によって決定される。この点でも運営管理面での技術協力は一つの大きな要因となる。

いずれにしても、本計画対象施設の自立発展性の正否は、

- ①現在策定中のマスタープランの出来具合
- ②政府補助金の額
- ③日本の技術協力計画の良し悪し
等で決定されるものである。

6-2 計画の概要

本調査における現地調査及び国内解析の結果、本計画は下記の内容で設計を進める事が必要且つ妥当なものと判断した。

6-2-1 施設・設備計画

施設計画については要請された施設を調査し、「ケ」側と協議した結果、各学部の本部を有するナイロビ 3 校(カリ校も含む)と、緊急性を有する施設でかつ統廃合の確率が少なく地域的に重要であり、早急な改修を必要とする施設として下記校があげられる。

- 1) KMTC ナクル ナイロビと西部地区の中間点にあり、他校との学生交換の中心となっている学校であり、施設の傷みが最も大きく進んでいる。
- 2) KMTC モムバサ コース地方の中心となる学校で施設規模も大きく老朽化による施設の傷みが進行している。
- 3) KMTC カカメガ 西部地区唯一の学校であり、建物の傷みが激しく、その条件下で雨の漏れている教室を使用している状況。
- 4) KMTC ホマバイ コンサ地区はビクトリア湖畔にあり、教室として使っているマルチ・ハースホールが漏れのため、使用出来ず授業に支障を来している。
- 5) KMTC ニエリ セントラル地区で最も大きな学校であり、KMTC エルゼットの倍の規模となっている。施設の老朽化は著しく漏水による傷みは進行している。

継続工事

KMTC カルネットは現在建築工事が中断しているが、ケニアのリフトバレー州北西部の部族間のかなめとなる場所であり、地方への機会均等化になるものと考えられる。

増築及び改築工事

KMTC ナイロビにおける施設増設の要請は6-1-2 によるが調査の結果、建物として老朽化し改修工事不可能な施設で必要性の高いものとして下記施設があげられる。

- 1) 整形外科 当施設は1950年代に建設された石造建築で、壁面からの雨の浸透から建物技工学を保護する目的で外部にワイヤを張っており、石造りのため、間仕切りの変更が出来ず廊下を作業実習の場に使っているが、作業台が片側からしか使えずに不自由な状況となっている。
- 2) 臨床医学部 当学部は教師14名に対し生徒数は291人を数え、コースは11コースあり学年数は3学年コース1クラス、2学年コース1クラス、1学年コース9クラスとなっている。臨床医学部の施設としては医学部棟と階段教室棟、現在は老朽化のため使われていない木造教室棟の3棟がある。
当学部として使える教室は階段教室1室しか無く、他の学部の教室を借りて授業を行っており、少なくとも自分達で自由に使えるクラスが最小限3室(60人クラス)は必要である。医学部棟(320㎡)も現在在学学生及び教職員とその家族を対象とした診療室が同居しているので、手狭になっている。
臨床医学部として必要とされる部屋は下記の通りとなる。

講義部門

教室	60名	3室
学部長室	1名	1室
副学部長室	1名	1室
教授室	12名	2室
事務室	6名	1室
男女便所		1式

書類倉庫	1室
ミーティングルーム	1室
面談室(個人面接)	3室

診療部門

受付	1室
外来待合い室	1室
外来一般便所	1式
診察室、待合室共	5室
レントゲン室、付属室共	1室
診療室	1室

3) キャンティーン

キャンティーンは住宅を改装して使用されており、外壁の石積みからは雨水の浸透があり外側には生子鉄板が張ってある。
面積は 111㎡、客席は40席あり、その他建物内にスペース約 6㎡があり、外から買い物が出来るようになっている。
KMTC ナイトの現在の学生数 1,600人、教職員数 581名(1992年)となっており、KMTCはすべて全寮制となっているため、ナイト校の学生用食堂もあるがこれを利用している学生は約 1,500人(1回当たりの食事の生産量)であり、約 100人の学生は他の場所で食事を取っている事となる。教職員も授業の関係上、昼食時は家に帰らず学校で食事を取る事となるのでキャンティーン の増設が望ましいが、石造住宅を改良した現在のキャンティーンに増築は無理と思われるので新築の計画が必要とされる。

4) 便所

施設の生徒用便所が不足し、便所の増設の要望が多いため調べた結果、学生約 1,616人に対し施設内の便所は

男子用 大 45 小 11
女子用 40

この内スタッフ用を差し引くと

男子用 大 12 小 2
女子用 7

となっており、学生はドミトリまで戻る事となっているため授業に差し支えも出ているので、生徒数に見合った施設が必要とされる。

学生数 1,616 男女 1/2とした場合

		大	小
男子用	$808 \div 40 =$	20	20
女子用	$808 \div 40 =$	32	

が必要となり

男子用	8	18
女子用	25	

不足となる。

5) 図書館

当該図書館の増設の要請があり調査した結果、本図書館の利用時間は 9:00~22:00 時、図書館は開架式で、蔵書数は20,000冊となっており、学生数は 1,600人である。

図書の利用人数

$1,600 \times 7\% = 112$ 名	学生利用者数
$112 \times 4.0 = 448$ ㎡	1人当たりの読書室面積
$20,000 \text{冊} \div 210 \text{冊} = 95$ ㎡	本に対する面積
$448 \text{㎡} + 95 \text{㎡} = 543 < 1,710 \text{㎡}$	

一般的な大学の図書館の計算値から上記面積を算出すると現在の図書館は 3倍強の面積があり余裕があるように見えるがナイト校の場合、宿泊

室の電気がつかない部屋もあり18時過ぎの図書館は満員の状況である。
「ケ」側の要請では平屋の梁、天井スラブにクラックがあり、図面、構造計算書等の提出が無かったので、B/D 時に安全面での調査が必要となる。

6-2-1-1 各地施設の内容

サイト名	現 況	検 討 事 項
KMTC カサ	<p>出入口木製ドア一部白蟻の害。 市水の配管は来ているが水圧不足で水は来ないため、雨水を利用している。敷地内に掘り掛けて(100m)資金不足で中断している井戸がある。 300m位、掘れば水は出るとの事。 照明器具の破損が多い電気系統からのチェックが必要。 全棟 1階窓からの盗難あり。</p>	井戸の可能性の検討。
KMTC カソ	<p>石積み壁面 3ヶ所にクラックあり。 一部雨漏りあり。(屋根は瓦葺き) 外廊下屋根(プラスチック波板)老朽化による破損。 各室床 タイル はがれ。 市水水圧不足で出ない。洗い物は雨水を利用し、飲料水はKMTC ナイトより毎日運んでいる。 全棟 1階窓からの盗難あり。</p>	井戸の可能性の検討。
KMTC マサ	<p>本棟屋根アスファルト防水剥離による漏水。 同上による最上階天井のはがれ。 配水管老朽化による壊れがあり、配水管からの漏水と衛生陶器類の壊れ。 漏水による電気系統の故障。 漏水による壁面の汚れ。 別棟女子宿泊棟瓦屋根からの漏水。 同上漏水による天井のはがれ。 天井の剥がれによる照明器材の壊れ。</p>	設備工事範囲の検討。 宿泊棟の修繕時の部屋のローテーションの検討。
KMTC モンパサ	<p>施設全体の漏水 宿泊棟 2棟 エキスパンション ジョイントからの漏水。 マルチハース棟 アスファルト防水のはがれによる漏水。 同上漏れによる天井のはがれ。 同上天井の剥がれによる照明器具の破損。 階段教室棟アスファルト防水の剥がれによる漏水。 同上漏れにより照明器具の破損。 同上壁面からの雨水の浸透による汚れ キャンティン 棟アスファルト防水のはがれによる漏水。 同上漏水による照明器具の破損。 全棟 1階窓からの盗難あり。</p>	教室棟の修繕時のローテーションの計画。

サイト名	現 況	検 討 事 項
KMTC マチコス	<p>教育棟外壁からの雨水の浸透により壁面にかびの発生があり汚れている。 大講義室の照明器具の破損。 一般照明器具の入手難(サーキット) 宿泊棟排水管とマンホールとのジョイント部分に問題あり。 マチコスには2つのサイトがあるが両方とも市水の圧力が無く 上層階の給水が出来ない状況である。 コトハウス2棟老朽化による雨漏り、シャワー室、便所、洗面所の老朽化で使用不能となっている。 各室の木製建具の老朽化による壊れがある。 1階窓からの盗難あり。</p>	<p>水の対策。</p>
KMTC ニリ	<p>同タイプ2棟(男、女ドミトリ) 屋根アスファルト防水老朽化による剥離による漏水。 木製建具の破損(特に鍵の部分) 一棟は排水管のメンテナンスが終了しているが一棟は未着工。 衛生陶器の破損がある。 市水の圧力不足による水不足があり、各階の水場は使用不可能となっている 外に仮設便所</p>	<p>水の対策。</p>
KMTC ナル	<p>男子宿泊棟 屋根アスファルト防水老朽化による剥離。 最上階漏水による天井剥落がある。 漏水による電気系統の故障。 衛生陶器類の破損。 衛生施設の木製建具類の破損。</p> <p>キッチン棟 屋根アスファルト防水老朽化による剥離。 漏水による床材の剥離。 厨房ボイラー2基の内1基が故障。 厨房天井漏水による剥落。 厨房冷蔵庫、冷凍機の故障。 厨房窓硝子の破損 厨房床材の破損。</p> <p>教育棟 構造クラックあり。 漏水による天井の剥落。 1階窓からの盗難あり。(実験道具類が狙われる)</p>	<p>宿泊室の修繕時の部屋のローテーションの検討。</p> <p>設備器材</p> <p>構造の安全性の検討。</p>

サイト名	現 況	検 討 事 項
KMTC カカメガ	<p>看護棟 キッチン・シャワーの窓ガラス無し。 排水管とマンホール のジョイント悪し。 シャワー雨漏り。 シャワー出入口戸破損。</p> <p>各棟アスファルト防水老朽化による剥離。 漏水による天井の剥離。 電気の機材及びプレート類の紛失が多い 仕切りのコーティングの破損。 1階部分の窓から盗難。</p>	教室修繕時のローテーション の計画
KMTC キヌム	<p>屋根防水アスファルト老朽化による剥離。 給水量の不足(市水の圧力不足)で 3階 まで水が上がらない。</p>	水の対策。
KMTC エムア	<p>太陽熱温水器の配管より漏れあり。</p>	他国のドナーによる援助あり。
KMTC メル	<p>構造体にクラックあり。 衛生陶器類の壊れ。 現在フェンス及び排水管の取替え作業中。</p>	水の対策。
KMTC ムランガ	<p>給水圧力無く、上部階水場使用不可能 衛生陶器の壊れあり。</p>	現段階で改修の必要性は無し と判断する。
KMTC ティカ	<p>屋根大波スレートからの漏れ 1ヶ所。 男子宿舎、住宅を利用しているがカーテン で仕切りをして使用している。 物置の床に白蟻の被害あり。 今回セキュリティー の確保出来ず調査無し。</p>	他国のドナーによる援助あり。
KMTC ガリッサ	<p>食堂床材のはがれ。 漏水による汚れ。 衛生陶器類の破損</p>	水の対策。
KMTC キンイ	<p>屋根アスファルト防水の老朽化による剥離。 衛生陶器類の破損。 市水の圧力不足による給水量の不足。 掘建ての仮設便所の利用。</p>	教室棟修繕時のローテーション の計 画。
KMTC ホマヘイ	<p>宿泊棟 1階図書室梁のクラック 2ヶ所。 陸屋根に置き屋根(大波スレート)を置いて あるが雨漏りあり。 ホマヘイ 地区は電気が来ない日があり、 水のポンプアップ 出来ず、施設の給水が 充分とはいえない状況。</p> <p>キャンティーン棟 冷蔵庫、冷凍機の故障で稼働せず。 厨房ガス 配管が壊れており炭を使用し ている。</p>	教室棟修繕時のローテーション の計 画。

サイト名	現 況	検 討 事 項
	マルパ°-パ°-ス棟 屋根アスファルト防水老朽化による剥離。 同上漏水による天井の破損。 同上漏水による電気系統の故障。 パ°-ションの破損。	屋根の防水工法の検討。
KMTC カパ°ルネット	新築中の施設 2年前より工事中断。 現在借用している施設はパ°リの問題 となるものは無い。	中断再開の検討。
KMTC マツカ°	借用施設である。 市からの給水圧力不足のため、給水量 が充分では無い。	水の対策。
HMTS メル-	現在パ°リ について問題無し。	改修の必要性無し。
HMTS エルト°レット	現在パ°リ について問題無し。	改修の必要性無し。
HMTS キリフィ	現在パ°リ について問題無し。	改修の必要性無し。
HMTS ロイトトツク	現在パ°リ について問題無し。	改修の必要性無し。
KMTC ポ°トリツ	市水の圧力不足により十分な給水量を 確保できない。	水の対策。

6-2-1-2 KMTC ナイト 施設の内容

サイト名	現 況	検 討 事 項
1. 事務及び 教室棟	漏水及び給排水、電気設備に関し て問題無し。	本棟に関しては修繕の必要は 無い。
2. 臨床医学棟	1)屋根防水の風化による漏水がある。 2)漏水による天井の剥落。 3)漏水による電気系統の故障	本棟は老朽化が著しく棟内に 診療施設もあり、手狭となっ ているので解体・新設の検討 を要する。
3. 臨床医学 教室棟	臨床医学教室として使われていたが、 老朽化が進み現在は使用不可能となっ ており、電気設備も撤去されている。 従って、臨床医学教室としては算入さ れていない。	使用されていない施設であり 早急に解体を要する。
4. 男子ドミトリ- SOWETO	本棟の1/3 は ナイト 大学の医学部に 貸してある。 1)アスファルト防水層が老朽化によって剥離 し、漏水が発生している。 最上階において使用不可能の部屋が50 %ある。 2)エレベーターの老朽化により漏 水し天井、照明器具の破損が発生して いる。 3)上層階柱頂部と梁の接点部分にヘア-ク ラック がいくつか見られる。 4)個室窓ガラスの破損が多数ある。 5)消火栓は機能せず。 6)シャワー、洗面、トイレ、洗濯場の器具の 老朽化による壊れが全部の箇所が発生 している。 7)シャワー、トイレのドアの壊れ、腐食があ る。 8)エレベーター 4 基10年前より作動してい ない。 9)ゲラントフロアで盗難あり。	学生が衛生的かつ健康に生活 出来る場を考慮の上修繕範囲 の設定を行う。 エレベーターの修理に関して「ヶ」 側は必要ないとしているが、 病人等の事を考慮し1台だけ でも、鍵付きで管理人が必要 とした時だけ使えるものを検 討する
5. 整形外科 技工棟	1)屋根波型鋼板の腐食による漏れ。 2)外壁波型鋼板の腐食による漏れ。 3)施設内はトイレ無し。	明るい清潔な作業場に合った 適度な広さの作業場を考慮し た計画とする事
6. キャンティン棟	1)屋根、外壁塗装で維持しているが腐 食が見られる。 2)学生数約1,600 に対し10M角の施設 では狭すぎる。 3)施設内トイレ 男女兼用 1つのみ	住宅を改装した施設であり、 構造的に増築等は無理なので 他の増築する建物との併用を 考慮する必要がある。

サイト名	現 況	検 討 事 項
7. 歯科技工棟	<ul style="list-style-type: none"> 1) 屋根大波スレート風化による破損が発生し漏水している。 2) 漏水による天井の剥落。 3) 漏水による電気系統の故障。 4) 床のはがれ。 5) 構造体は問題無し。 6) 換気設備が無い。 7) 給排水設備は1ヶ所しか無い。 8) 生徒数29に対して便所無し。 	<p>構造的にはしっかりしている施設であり、構造以外の改装計画が必要である。 改修時の教室のローテーション。</p>
8. 倉庫棟	<ul style="list-style-type: none"> 1) 屋根老朽化による漏れ。 2) 漏水による天井の剥落。 3) 漏水による照明器具の破損。 	<p>現状でも施設として稼働可能であり、調査の段階で範囲設定する必要がある。</p>
9. ワークショップ棟	<ul style="list-style-type: none"> 1) 屋根大波スレートの老朽化(漏れはない) 2) 便所が無い。 	<p>漏水は無いが老朽化している屋根の葺き替えをどうするか の判定を行う事。 メンテナンス学部の創設の検討。</p>
10. 物理療法士学棟	<ul style="list-style-type: none"> 1) 大波スレートの老朽化。(漏れは無い) 2) 陸屋根部分アスファルトの老朽による風化で漏水あり。 3) 採光用ガラス(ガラスファイバー製)からのホリの進入。 4) 床(木造)の腐れ。 5) 木製ドアの腐れ。(白蟻の害もみられる) 6) 洗面、シャワー器具の破損。 7) 漏水部分の電気系統の故障。 8) 外壁老朽化によるクラックの発生。 9) 盗難がある。 	<p>漏水は無いが老朽化している屋根の葺き替えをどうするか の判定。 床の腐れの原因を調査し、通気等を考慮した設計をする必要がある。 陸屋根の防水方法を置き屋根にするか? アスファルト防水を再度施工するか? または、何7の気象条件に合うより良い設計計画とする事。 改修時の教室のローテーション。</p>
11. 作業療法士学棟	<ul style="list-style-type: none"> 1) 屋根大波スレート老朽化により破損し漏れの発生。 2) 内外壁の老朽化によるクラックの発生。 3) 盗難がある。 	<p>建物全体の修理方法を考慮の上、設計計画をする事。</p>
12. 食物検査棟	<ul style="list-style-type: none"> 1) 樋の破損。 2) 冷蔵庫の冷凍機の故障。 3) 明かり採りガラス窓からのホリの進入 4) 便所が無い。 5) 盗難がある。 	<p>雨漏りが無いので施設がより良く機能する範囲設定を計画する事。</p>
13. 校舎及び医療事務棟	<ul style="list-style-type: none"> 1) 屋根素焼き瓦の老朽化により破損が進行し、漏れが各所にみられる。 2) 窓硝子の破損。 3) 照明器具の破損。 4) 便所無し 5) 盗難がある。 	<p>漏水のある屋根瓦の差し替えまたは、全体の葺き替えかの検討。 生徒用便所を設けるかの検討 改修時の教室のローテーション。</p>

サイト名	現 況	検 討 事 項
14. 校舎及び 研究棟	1) 屋根大波スートの老朽化による破損で漏水が各所に見られる。 2) 漏水による天井の剥落が各所に見られる。 3) 漏水による照明器具の破損が発生している。 4) 学生所便所の洗面器、小便器、鏡の破損。 5) ガラスの破損。 6) 木製建具の老朽化による壊れ。 7) グラント707階の実験機材の盗難	3階建てで雨漏りは3階の一部ではあるが屋根の葺き替えの範囲の設定。 内装範囲の設定。 外装をどうするかは判定が必要。 改修時の各教室、研究室のローテーションの検討。
15. 男子ドミ トリー HILTON	1) 3階部分に、1/3は修理済み残り2/3は部分的に雨漏りあり。 2) 雨漏りによる照明器具の破損。 3) 木製建具の老朽化による壊れ。 4) グラント707階の盗難。 5) 洗面所、シャワールーム、便所、洗濯室の器機類の破損。	地方から学生を引率してくる教師のドミトリーとしたい意向あり。 改修室の生徒の宿泊室のローテーションの検討
16. 臨床医学 教室棟	1) 陸屋根アスファルト防水老朽により風化し漏水の発生。 2) 漏水による照明器具の破損。 3) 出入口建具の老朽化による破損。 4) 内外壁の老朽化による剥落。	修繕の範囲。 屋根の修繕方法の検討。 改修時の教室の手配。
17. 校舎及び 研究棟	1) 屋根大波スートの老朽化は進んでいるが漏水は見られない。 2) 日除けの破損。 3) グラント707階の実験機材の盗難。	屋根の葺き替えの判定必要。 改修時の教室のローテーションの検討。
18. 薬学部棟	1) 屋根大波スートの漏水は無いが陸屋根部分のアスファルト防水が老朽化により剥離しホール及び階段教室の漏水がある。 2) 漏水によるホール及び階段教室の天井、壁の剥落が発生している。 3) 漏水による電気系統の故障。 4) グラント707階実験機材の盗難。 5) ホール建具類の老朽化。	階段教室陸屋根の施工方法検討が必要。 2階ホールの実習テーブルの中央化の検討。 改修時の教室のローテーションの検討。
19. 教室及び 教授室棟	1) 屋根大波スート老朽化による部分的雨漏り。 2) 盗難。 3) 洗面所器具の破損。	屋根葺き替えの検討。 改修時の教室のローテーションの検討。
20. 図書館棟	1) 陸屋根アスファルト防水の老朽化により剥離し漏水が発生している。 2) 屋根スラブ、梁にクラックあり。 3) 便所衛生器具の破損。	2階建てに増築要請があるが構造的に体力があるかどうかの検討。

サイト名	現 況	検 討 事 項
21. 男子ドミトリ KANU	4)漏水により照明器具の破損。 5)書籍の盗難がある。 1)陸屋根アスファルト防水の老朽により剥離し、漏水が発生。 2)漏水により最上階(8階)の半数は使用不能となっている。 3)漏水による電気系統の故障の発生。 4)個室の窓ガラスの破損。 5)8階に方向性を持った壁面のクラック。 6)シャワー室、便所、木製建具の老朽化による破損。 7)グランドフロアの盗難。 8)洗面所、便所、シャワー室の器機類の破損。 9)消火栓使用不能。 10)エレベーター4基使用不能。 11)非常ベル不作動。	高層階防水工法の検討。 設備工事範囲の検討。 建物の安全性の確認。 エレベーターはsowetoを参考とし検討する。 改修する部屋のローテーションの検討。
22. 看護学棟	1)陸屋根アスファルト防水の老朽により風化し、漏水が発生している。 2)アセンブリホール、天井、壁、床が漏水により剥離している。 3)上記に伴い電気系統も損傷している 4)階段教室、天井、の剥落。 5)同上照明器機の破損 6)教室棟の天井剥離。 7)同上電気系統の故障。 8)印刷室天窓の破損。 9)印刷室陸屋根アスファルト 防水剥離による漏水。 10)便所衛生陶器類の破損。 11)木製ドアの老朽化による破損。 12)デモンstrーション棟壁面のクラック。 13)入り口ひさしの破損。 14)グランドフロアの盗難がある。	修繕範囲の設定。 設備工事範囲の検討。 防水工法の検討。 改修時の教室のローテーションの検討。
23. 女子ドミトリ棟	1)陸屋根部分アスファルト防水老朽化により剥離し 3階部分に漏水。 2)エキスパンション部分はグランドフロアまで漏水 3)大波スレート屋根は部分的に漏水あり。 4)リカーションルーム 床寄木張りはがれ。 5)洗面、便所、シャワー室、洗濯室器機類の破損。 6)同上室の木製建具老朽化による破損 7)漏水による電気系統の故障。 8)グランドフロア盗難。	防水工法の検討。 2階建て棟の大部屋から個室への区画の設計計画。 修繕する部屋のローテーションの検討。
24. 電気室	1)屋根大波スレート老朽化しているが漏水は無い。	葺き替えの検討。

6-2-2 機材計画

機材計画にあたっては、下記の条件を考慮する事とする。

- 1)機材計画は、原則的に基本的理論及び基本的実習(学内実習)を教育する事を計画方針とし、自動機材、高度機材等を含まないようにする事。

学内実習とは、現場実習を行う前に習得しておくべき技術を得るものであり、模型を用いるだけでも学内実習の効果は大きい。もちろん現場実習と同等の技術を、基本的訓練機材にて習得する事が出来ればより良い計画であろう。つまり、KMTCに現在無い機材でも、計画が現存中核病院機材のレベル範囲内であれば、KMTCにおける必要な習得技術レベルとみなして計画に含める事には問題は生じない。

ただし、たとえ中核病院で使用されている機材でも、自動機材は処理量の増加と処理レベルの均一化を求めるもので、教育・訓練に必要なものではない。また、高度機材も、訓練に必要なのは原理的・基本的実習であり、KMTCにおける機材計画には必要とはしない。

- 2)KMTC法による組織変更あるいはKMTCマスタープランによって統廃合の可能性のある部門については、右マスタープラン等を確認の上計画を行う事。また、未確認あるいは統廃合または増設のある場合は計画の必要性及び妥当性を調査の上計画を行う事。
- 3)地方施設への機材計画については、事前調査時に地方での維持管理機能が完全に確認されていないところから、特に維持管理費用を多く必要としない看護教育用機材のみを必要各施設に計画し、車両、臨床検査学教育機材、環境衛生学教育機材については、本計画に含めないものとする。

6-2-2-1. KMTC+10校 看護学部及び他のKMTC看護学部

当該部門の調査では、10校及び他の看護学校における看護教育機材はほとんど同一基準で整備された形跡がある。しかし、現在のKMTCには資料はなく、他方日本における看護教育の標準機材表を見るとほぼ同様の機材計画となっており、本計画においては、右標準機材を基に日本側から「ケ」側に基準機材リストを提示し、各KMTCに取捨選択させて機材計画を行うこととする。

なお、上の条件は「ケ」側に日本方式を押しつけるものではなく、「ケ」独自の教育方法があり、その方法が基本的教育内容であれば本計画に含める事は必要であり、この点については基本設計調査にて確認の必要がある。

日本における看護教育標準機材表は添付資料-7に記す。

6-2-2-2. KMTC+10校 整形技工学部

当該部門の要請機材は、金属加工機材が主体だが、現地調査においては金属加工のみならず、木工、皮革加工、合成樹脂加工及びガラス繊維加工が必要である事が確認された。また、当該部門は「ケ」国唯一の教育機関であるところから、当該部門の機材整備は現在実施している加ナラムを詳細に検討し、かつ合成樹脂加工及びガラス繊維加工を計画に含める場合は、短期でも良いから技術協力の可能性を確認の上計画する必要がある。

6-2-2-3. KMTC+10校 歯科技工学部

当該部門の要請機材は、技工用機材の一部のみであり、教育模型、技工用材料、切削研磨材、歯学書、視聴覚機材等を含めた計画とする。なお、当該部門は学内実習が大切な部門であり、実習室での歯科技工が完結型となるよう計画する事。また、基本設計調査時には技術協力の可能性も併せて調査の必要がある。

6-2-2-4. KMTCTナイト校 医療事務学部

当該部門の要請書は受けていないが、当該部門のカリキュラムには病院管理、かた管理、統計管理、コンピューターサイエンス等があり、他方各地の病院には既にコンピューターの導入が進んでいるところから、コンピューターの機材計画を行う。ただし、コンピューターは各学部の要請機材でもあり中央化の必要があるところから、右機材は当該部門の専有とはしない。

6-2-2-5. KMTCTナイト校 環境衛生学部

当該部門の要請は、試料分析機器が主体となっているが、高速ガス、蛋白分析装置、凍結乾燥器、電解質分析装置等の高度分析装置も含まれており、他方、当該部門の卒後の現場にはこれら高度分析装置はほとんどど装備されていない。よって、出来る限り手分析を主体とする機材を計画する。なお、当該部門で必要とする基本的化学実験室は他部門(臨床検査技術部門、薬剤学部等)との共用として計画する事を念頭に入れておく必要がある。

6-2-2-6. KMTCTナイト校 放射線技術部門

当該部門の要請機材はカリキュラムにもシッカリしており、適切なものと判断される。ただし、当該部門の学内実習はあくまで基本実習である点を認識し、X線装置はポータブル型、現像装置は手焼き式とする。

6-2-2-7. KMTCTナイト校 口腔衛生学部

当該部門の教育は歯科医師補としての教育を与えるものであるが、歯科医師の数が少ない国では当該部門の卒業生は重要な要員であり、かつこの部門の学内実習は欠く事の出来ない要因である。しかし、当該施設には実習室がない。よって本計画にて実習室を計画した上で要請の機材を計画する。ただし、自動現像装置は計画に含まず、手焼き現像を基本として計画の事。

6-2-2-8. KMTCTナイト校 臨床検査学部

当該部門の要請には、自動化学分析装置、自動血球計算装置、原子吸光光度計等の高度分析装置が含まれている。しかし、当該部門卒後の現場にはほとんどこれら高度分析装置は設備されてはいない。よって当該部門の機材計画はすべて手分析を基本として計画する。

ただし、下記目的の達成を目的とする検査技術の向上には、卒後現場の実状を確認の上、一部基礎的レベルよりは高度な分析装置を計画する。

- a. プライマリヘルスケアの充実
- b. AIDS対策
- c. マリア対策

例えば、本調査において関連施設として調査した20箇所の州病院及び県病院のほとんどにAIDS検査用機材"ELISA"が装備されている事が確認されており、当該部門にAIDS検査を目的とする酵素免疫測定装置を計画に含める事とする。

なお、当該部門で必要とする基本的化学実験室は他部門(臨床検査技術部門、薬剤学部等)との共用を考慮する事。

さらに計画の規模については、HIGHER DIPLOMAコースの教育を充分考慮し、かつ添付資料-8を参考として、現存の施設が有効に使用されるのが望ましい。

6-2-2-9. KMTCナイト校 衛生教育学部門

当該部門は、PHCと住民への衛生教育を行うべく教育を施す部門であり、カリキュラムには相当数の野外活動が含まれている。この状況から、住民への衛生教育用視聴覚機材及び野外活動機材(特に車両及び移動用視聴覚機材あるいは掛け軸、デモ機材等の住民教育機材)を計画する。

6-2-2-10. KMTCナイト校 物理療法学部門

当該部門の要請は、現存の機材のほとんどが機能していない状況及びカリキュラムに即しているところから妥当な機材計画であると判断される。

特に当該部門の基本教育方針は、運動療法を主体としており、電磁波利用の物理療法機器は計画に含める必要はあるものの、水治療機器は含めないものとする。(添付資料-8参照)

6-2-2-11. KMTCナイト校 作業療法学部門

当該部門は現在実習室を有していないため、本計画にて実習室を確保の上機材を計画する。なお、当該部門の要請は、実習室の存在を考慮せずに計画されたものであり、基本設計時にはカリキュラムを詳細に調査の上、計画を行う事。なお、当該部門の実習室については、一部物理療法実習室との共有、あるいは教室の共有計画によって他の建物にスペースを見だし、これを実習室とするなどの考え方をKMTC側に提示し、解決を図る必要がある。

6-2-2-12. KMTCナイト校 臨床医学部門

当該部門からの要請は提出されていないが、実習教育機関であるKNHの医療ヘルプ・プログラム・リアルである点、一方KMTCが主目的とするのは地方医療と格差が大きいところから、現在KMTCが有する診療所が整備されれば、当該部門の実習の場として活用出来るため、診療所の整備を計画に含める事は必要性及び妥当性の点からも適切なものと判断される。

6-2-2-13. KMTCナイト校 薬剤学部門

当該部門における要請機材は、当該部門のカリキュラムに即したものと判断される。しかしながら、ナイト校内の施設の共有化の思想から、基本化学実験室を共有式とする事は考慮されておらず、かつ当該部門が今後強化しようとしている薬草学の実習についての計画がほとんど含まれていないところから、基本設計時には、カリキュラムを詳細に調査の上、計画に薬草学の実習用機材を含める必要がある。

6-2-2-14. KMTCナイト校 医療教育学部門

当該部門からの要請はなく、必要機材は視聴覚機材であるところから、右視聴覚室は共有施設として計画するものとしており、特に機材計画の必要はない。

6-2-2-15. KMTCカレン校 (KMTC KAREN)

当該施設は栄養学部の本部であり、要請されている機材は当該部門のカリキュラムに即している。しかしながら、当該部門の直面している材料不足の問題点があり、「ケ」側の予算措置を確認した上で計画を行う必要がある。すなわち、材料不足による機材の不利用状況を生じせしめてはならない。

6-2-2-16. KMTCマhare校 (KMTC MATHARE)

当該施設は精神医学を教育しているが、当該部門からの要請はない。しかし、当該施設はこの学部の本部であり、専門の書籍が少ないところから、他の施設に比して専門書を多く計画する。

6-2-2-17. KMTCナイレ校 図書室

当該施設における蔵書はだいぶ古くなっており、各学部からも増書の声が聴かれ、また各施設からも強い要望があるところから、専門書籍の増書を計画する。また、各MTCにも同様の状況で書籍の計画を行うものとする。

なお、書籍の数量については、自己の教材を満足に有していない生徒（ほとんどの生徒は教科書を持っていない）が図書館で勉強をしている状況から、基本設計時に学生の利用状況を把握の上、図書館の同一書籍を複数の学生が同時に利用可能な計画を行う事。

また、当該施設には書籍のメンテナンス機材が設備されていない。このため、本計画には書籍の修理用機材を含める。

6-2-2-18. KMTCナイレ校 医療技術学部門

当該施設に医療技術学部門の教育機能はない。しかし、KMTCはナイレ校に当該部門の施設を新設する計画を有しており、また、KMTCの機材維持管理能力を確保する必要性もあるところから、下記の各実習室を計画する。なお、各実習室には教育機材のみでなく施設設備のメンテナンス機能も含有させる事とする。

- ①電気技術実習室
- ②電子技術実習室
- ③機械加工技術実習室
- ④医療機器修理技術実習室
- ⑤医療システム技術実習室

6-2-2-19. KMTCナイレ校 施設維持管理センター

現存のメンテナンス室をバブルアップさせ、木工のみならず、塗装、左官部門も併設させる。また、当該部門には、他のMTCの施設メンテナンス機能をも持たせる事とし、出来る限り自助努力にて施設のメンテナンスが出来るよう計画する。

特に移動用機材としては、フェンス工事、鉄格子工事、塗装工事用として下記の機材を計画。

移動用車両(メンテナンス専用車)	エンジン付き溶接機
外壁・屋根洗浄機	切断機
コンプレッサー	
吹き付け塗装機材	

6-2-2-20. KMTCナイレ校 視聴覚センター

当該施設の各学部は、それぞれ別個に視聴覚機材を要請しているが、KMTCとの協議により、既存室を視聴覚教育専用室とし、各部門との共用施設とする。右視聴覚室の機材は下記の通り。なお、部屋数については、基本設計時にカリキュラム詳細調査の上計画を作るものとする。

6-2-2-21. KMTCナイレ校 印刷センター

当該施設の各学部でコピー機あるいはデジタルリターを要請しているが、右機材は中央化する事により機器数量の経済化、稼働費用の経済化が可能となるため、既存室を印刷センターとして計画し、各学部からのコピー経費あるいは印刷経費はすべて依頼学部の負担とし、機材の維持管理費が確保できるようコストアウツグをはかる計画とする。

機材内容としては、コピー機、デジタルリター、スキャナ、電動タイプライター、ワープロ機、簡易ワット印刷機、簡易製本機材等を計画する。

6-2-2-22. KMTCナイロビ校 コンピューターセンター

当該施設のある学部はカリキュラムにコンピューターが含まれており、また他の学部でもコンピューター使用を切望しているところから、コンピューターを共用機材とすべく計画を行う。施設は既存室を用い、機材の数量は数台程度の極力少数で共用できるよう計画の事。

規模としては、パソコンを数台程度とし、各部門が別個に運用できるようにすると共に、プリンター等は出来る限り共用システムを取るようにする。

6-2-2-23. KMTCナイロビ校 診療所

当該部門は、現存する施設・機材を整備すると同時に、臨床医学部門、口腔衛生学部門、臨床検査学部門、薬学部門の学内実習機能及び他の各学部の学内実習機能を兼務させるべく計画を行う。

診療所の規模は、検査室、薬局及び内科を含む臨床医学部門が有する課程(内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・整形外科・肺・皮膚病「結核・癩・性病を含む」・歯科)を考慮し、基礎的最低限度の診療サービスが行える範囲とし、各診療室のスペースのみを数人規模の学生が実習可能な範囲として計画を行うものとする。

6-2-2-24. KMTC各校用車両

各学部、各施設より要請のある車両については、今調査においては、「ケ」側の質問書の回答が完全でなく、すべての車両の状況が把握できなかった点及びKMTCマスタープランの策定による組織・活動計画変更の可能性があるところから、本計画における車両計画は、施設の改修を行う対象施設のみに限定し、基本設計時には他の施設の車両の詳細現状を調査しておき、マスタープランを考慮した今後の計画策定のための資料としておく事とする。

なお、各施設において、単車あるいは自転車による移動が良いとの意見もあり、車両計画時に単車あるいは自転車を積極的に取り入れるよう計画を進める事とする。

6-3 技術協力の必要性

本計画が実施され、KMTCの機能回復がなされた場合、管理体制や教育機能の見直しが必要となる。しかし、現状ではKMTC各施設のみならずKNHを除く他の実習病院における機材の整備不良、機材不足並びに消耗品の不足が著しく、現時点では教育機能が低下していることは明らかである。

一方、各MTCにおける施設・設備・機材の維持管理体制の不備も目立ち、本計画によって施設の改修、機材の整備が行われたとしても、現状の体制では長期使用は望むべくもない。

しかしながら、KMTCは既にこれら不備状況を充分理解すると共に、94年7月より開始される新体制による学校運営維持管理のマスタープラン策定に着手しており、今日までの維持管理体制とは異なった新体制・新方式による改善が望まれ且つ期待される。とはいえ、経験の少ない「ケ」側管理者は日本側に要請した専門家派遣の中に管理運営及び維持管理の専門家派遣を取り入れており、本調査団もこれら状況は重要且つ必要な条件と判断した。

特にマスタープラン策定中の現在、「ケ」側は日本側にも本マスタープラン策定に参加する事を強く希望しており、「ケ」側からの要請がプロフェッショナルの技術協力とはいえ、早急に個別専門家を派遣する事は、今後の本プロフェッショナルの成果のに大きな影響を与えるものと確信する。出来れば本計画の基本設計、詳細設計及び実施にも「ケ」側へのアドバイザーとして参画出来る事が望ましい。

また、技術レベルの向上においては、本計画にて新規導入の教育機材活用のための短期専門家の派遣も考慮する必要があると判断される。ただし、これは、計画される機材が現地側にて全く使用出来ないという意味ではなく、機材・器具の持てる機能を十分に発揮させて目的を達成させる能力を育てるということである。

主要な学部における長期専門家は、各学部のカリキュラムの充実や教育機能の評価等、本部・地方校への政策指導を含んだ技術指導を行う必要があるが、本計画実施後の各地方施設における維持管理の正常化については、JOCVの活用も充分検討の必要性があると判断される。

第7章 結論及び提言

7-1 結論

7-1-1 本計画の必要性

増大する人口、減少する予算、これに伴う医療サービスの低下を来している「ケ」国において、人材開発は国家開発計画にも掲げられる重要な課題であり、本計画によるパラメディカルスタッフの養成機能を向上させる事は、全国民24百万人への裨益をもたらすものであり、特に本計画の対象施設(KMTC)での教育は地方医療を重点としているところからも、本計画を推進する事は「ケ」国にとって必要と判断される。

他方KMTCは、94年7月からの準国営化への移行過渡期であり、本計画に対する日本の協力を得る事は、新組織が新しい方式で総合KMTCの運営・管理の開始にあたり、確かな基盤の上に建物を造るごとく、大いなる飛躍への助成となることは明かである。

7-1-2 本計画の妥当性

「ケ」側の要請は、主として老朽化あるいは破損した既存施設の改修による機能回復であり、欠落している基礎的教育機器の整備である。事前現地調査においても、1か所を除くすべての施設の調査がなされ、「ケ」側の要請が妥当なものと確認された。

7-1-3 本計画の規模

施設・設備

各施設を通じて改修する範囲については基本設計調査の結果を踏まえて決定する事とするが、対象範囲としては下記学校が挙げられる。

要請によるもの

KMTC ナイト (カリ 校を含む)

改修

ナイト校各学部の施設 23棟
(各学部共通施設を含む)

コンピューター室、印刷室、AIDS講義室

新・増設

診療/実習室及び講義室、キャンティーン 1棟
ナイト校各付帯施設 : 生徒用トイレ 2棟

KMTC カリン

改修

KMTC マケ

改修

緊急を要する施設

KMTC ナクル

改修

KMTC モムハサ

改修

KMTC ホマヘイ

改修

KMTC ニエリ

改修

重要地点に在り必要と判断される施設

KMTC カパルネット

中断している新設工事の再開

改修を必要とするその他の施設

KMTC マチャコス

改修

KMTC テイカ

改修

KMTC キンイ

改修

KMTC マツカ

改修

KMTC ホートリップ

改修

KMTC ムランガ

改修

機材整備

機材の整備	各1組	各学部本部向け教育機材
	16組	各施設向け看護教育機材
	各1組	本計画にて改修される施設向け実習/通学用車両

7-1-4 計画の範囲

施設・設備

各施設の改修規模については、各々のサイトの状況によるものが下記 2つの改修規模の設定が考えられるが、本調査を通じてどの施設にも共通してグラウンド7階出入口、窓の鉄格子及び飲料水の確保は基本的な問題として考慮する必要がある。(表7-1参照)

改修規模の設定

- (1) 原状復帰 全ての悪い所を直し、建設時に近いところまで修理する。
- (2) 機能復帰 最低限必要なもののみを復旧する場合下記事項が考えられる。
 - * 漏水の防止
 - * 天井等剥落している所だけ修理
 - * 窓ガラスの割れている所だけ修理
 - * 給排水衛生の器具付け
 - * 勉強するのに支障の無い程度までの電気の復旧
 - * 塗装

機材

機材の規模については、表7-2に明記した機材表の通りとする。

表 7-1 K M T C ナイロピ校改修詳細表

○改修 △一部改修 -改修不要 □硝子交換

建 物 名	床	建 具			内壁仕上げ		天井	屋 根			外 壁		衛生器具	給排水	電気	防災
		出入口	窓	建具塗装	腰壁	壁		山形	瓦	陸屋根	構造	仕上				
1. 事務及び教室棟	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2. 臨床医学棟	△	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-
3. 臨床医学教室棟	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4. 男子ドミトリ-SOWETO	-	-	□	○	-	△	△	-	○	△	-	○	○	○	○	○
5. 整形外科技术士学棟	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	-
6. キャンテーン棟	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
7. 歯科技士棟	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-
8. 倉庫棟	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9. 7-クイック棟	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	○	-
10. 物理療法士学棟	△	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○	△	-	-	-	-
11. 作業療法士学棟	-	△	-	○	-	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
12. 食物検査学棟	○	△	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-
13. 校舎及び医療事務棟	○	△	-	○	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-
14. 校舎及び研究室棟	-	-	-	○	△	△	△	△	○	-	-	-	○	○	○	○
15. 男子ドミトリ- HILTON	-	△	□	○	△	△	△	△	-	○	-	-	○	○	○	○
16. 臨床医学教室棟	-	△	-	○	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○	-
17. 校舎及び研究棟	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	△	-	-	-
18. 薬学部棟	-	△	-	○	-	△	△	△	-	○	-	-	△	○	○	-
19. 教室及び教授室棟	-	-	-	○	-	-	△	△	-	-	-	-	△	-	-	-
20. 図書館棟	-	-	-	○	-	-	○	○	-	○	-	-	△	△	△	-
21. 男子ドミトリ- KANU	-	△	□	○	△	△	△	△	-	○	△	○	○	○	○	○
22. 看護学棟	△	△	□	○	-	△	△	△	-	○	-	○	○	○	○	-
23. 女子ドミトリ- 棟	-	△	□	○	-	△	△	△	-	○	-	○	○	○	○	○
24. 電気室棟	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL																

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕 様	数量
A. FACULTY OF NURSING				
A-01	ADULT BED FOR DEMONSTRATION	看護学部 成人用ベッド	鉄製、塗装ベッド・マット付(2台 X 16カ所) [出来れば現地調達]	32
A-02	CHILD BED FOR DEMONSTRATION	小児用ベッド	鉄製、塗装ベッド・マット付(1台 X 16カ所) [出来れば現地調達]	16
A-03	INFANT BED FOR DEMONSTRATION	新生児用ベッド	鉄製、アラスチック籠、キャスター、マット付(1台 X 16カ所) [現地調達]	16
A-04	OVERBED TABLE	オーバーテーブル	鉄製、塗装(1台 X 16カ所) [出来れば現地調達]	16
A-05	PATIENT MODEL FOR NURSING EXERCISE (ADULT)	看護実習用成人形(成人)	実習項目: 予防的諸方法、蘇生法、包帯法、眼・耳・鼻・膀胱・膈洗浄 カテーテル挿入法、注射(筋肉注射、皮下注射)、導尿(♀+♂) 口腔清潔、人工肛門(1体 X 16カ所)	16
A-06	PATIENT MODEL FOR NURSING EXERCISE (BABY)	看護実習用小人形(ベビー)	実習項目: 沐浴、全身清拭、襟襟着脱、衣類着脱、乳児体操、 肛門検温、観察・計測 軟塩化カルシウム製(♂♀各1体 X 16カ所)	16
A-06	ANATOMIC HUMAN BODY	人体解剖	12分解(1体 X 16カ所)	16
A-07	HUMAN SKELTON	人骨骨格	骨格交連型 材質: プラスチック・キヤリウム 高さ: 170cm 番号: 300カ所 (番号説明書付き)	16
A-08	CIRCULATION MODEL OF BLOOD	血液循環系統	骨格付き(1体 X 16カ所)	16
A-09	PREGNANCY MODEL	妊娠模型(骨盤と胎児)	実物大、3分解、台付き(1体 X 16カ所)	16
A-10	DIGESTIVE ORGANS MODEL	消化器系模型	実物大、3分解、台付き(1体 X 16カ所)	16
A-11	LUNG MODEL	肺模型	実物大、7分解、台付き(1式 X 16カ所)	16
A-12	HEART MODEL	心臓模型	実物の $\frac{3}{4}$ 、バカス血管付、2分解、台付(1式 X 16カ所)	16
A-13	MUSCLE MODEL	筋肉模型	実物の $\frac{1}{2}$ 、33分解、台付き(1式 X 16カ所)	16
A-14	HEAD MODEL	脳及び神経系模型	実物大、9分解、台付き(1式 X 16カ所)	16
A-15	EQUILIBRIUM FUNCTION MODEL	平衡感覚器模型	実物の $\frac{3}{4}$ 、4分解、台付き(1式 X 16カ所)	16
A-16	VISUAL ORGAN MODEL	視覚器模型	実物の3倍、6分解台付き(1式 X 16カ所)	16
A-17	STETHOSCOPE FOR NURSE	看護婦用聴診器	看護実習用(50式 X 16カ所)	800
A-18	BLOOD PRESSURE APPARATUS	水銀血圧計	看護実習用(25式 X 16カ所)	400
A-19	FIRST AID KIT	救急処置用器材	手動蘇生器共(2式 X 16カ所)	32
A-20	SURGICAL INSTRUMENT SET	小手術用機械器具一式	デモンストラティブ用(1式 X 16カ所)	16
A-21	NURSING EDUCATIONAL SMALL ITEMS	看護教育用小物器具類	デモンストラティブ用品: カテーテル注射筒/針、注射筒/針、綿棒、検診用手袋、 低圧持続吸引器、閉鎖式尿量計、棄容器、膿盆、巻尺等 構成: シーツ、ベッドカバー、枕、枕カバー、バスケット、バット、タオル等	16
A-22 BEDDING SETS				
B. FACULTY OF ORTHOPEDIC TECHNOLOGY				
B-01	BENCH FOR WOOD WORK	木工作業台	寸法: 180 X 750 X 750mm [出来れば現地調達]	3
B-02	BENCH FOR MECHANICAL WORK	金工作業台	寸法: 180 X 750 X 750mm [出来れば現地調達]	3
B-03	INDUSTRIAL SAWING MACHINE SHORT	工業用シン短縫	皮 積層材用 最高速度1800rpm モーター: 1/3HP スタンド付き	2
B-04	INDUSTRIAL SAWING MACHINE LONG	工業用シン長縫	皮 積層材用 最高速度2000rpm モーター: 1/3HP スタンド付き	2

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕様	数量
B-05	BELT GRINDER	ベルト・グランドラー	金属表面研磨用 3段変速:1400~3000rpm 足踏みSW付き	2
B-06	CURVING MACHINE	カービング装置	ソケット内部/トリミング加工用 速度:500~3400rpm 足踏みSW付き	1
B-07	BAND SAW	帯鋸盤	金属・木・樹脂用 鋸刃長:2550mm モーター:1HP	1
B-08	GYPSUM CUTTER	ギプス・カッター	ギプス包帯切断用 鋸刃:60mm	2
B-09	HEAT GUN	ヒートガン	接着剤乾燥/樹脂加工用 風量:1100 L/min	2
B-10	VACUUM FORMING MACHINE	真空成形機	樹脂真空形成用 モーター:200W	1
B-11	SANDING MACHINE	トランプダー	トリミング加工用 モーター:3HP 回転数:1850rpm	1
B-12	ELECTRIC OVEN	電気炉	雄型乾燥/樹脂硬化用 温度調節付き	1
B-13	ELECTRIC SEALING MACHINE	シーリング・マシーン	PVA・PVC熱着用 テフロンシート付き	2
B-14	DUST COLLECTOR	集塵機	風量:40m ³ /min 集塵容量:42 L モーター:2.2KW	1
B-15	PORTABLE ELECTRIC DRILL	ポータブルドリル	金属・木工加工用 モーター:0~550rpm 500W 13mmキック	2
B-16	ZIG SAW	ジグソー	木工用 モーター:220W ストローク:3300rpm 16mm	2
B-17	CIRCULAR SAW	丸鋸	フレキ付き モーター:650W 4,000rpm 鋸刃径:160mm	2
B-18	FINISHING SANDER	仕上げサンドー	モーター:160W 14,000rpm へら幅:114 X 140mm	2
B-19	CORD REAL	コードリール	コード長:30m	2
B-20	INSTRUMENT SHELF	機器棚	材質:スチール 背網付 棚板8枚 寸法:W1200 X D600 X H2100	2
B-21	TOOL CABINET	工具キャビネット	材質:スチール 扉/鍵付き 寸法:W880 X D380 X H1790mm	2
B-22	PLANER SET	鉋セット	西欧式 組・中・仕上げ各種	5
B-23	WORKSHOP SMALL ITEMS	実習室用小物器具	錐・鑿・鉋・クワ・ダブ・セクタボック・弓鋸・彫刻刀、ハンド・ルーター、各種ナイフ/カッター、ギプス・巻尺・金床、万力(金工/木工)、一般工具等、ヤシロ・セツ、ハマー・セツ、	1
B-24	ACCESSORY PARTS	付属部材	ミシ針、グランドラー・ヘッド、カービング・ヘッド、サグダー・ヘッド、トリムピット、集塵機等	1
C.	FACULTY OF DENTAL TECHNOLOGY	歯科技工学部		
C-01	STUDY MODEL WITH REMOVABLE TEETH	複製歯牙着脱模型	咬合器付き	2
C-02	DEVELOPMENTAL STUDY MODEL	歯列發育模型	材質:顎及び歯牙; 歯キルジン 歯根; 軟質合成ゴム	2
C-03	PERIODONTAL STUDY MODEL	歯周疾患実習用模型	材質:歯牙; 歯キルジン、歯根; シェイパ	2
C-04	CARIES STUDY MODEL	カリエス模型	材質:歯牙; 歯キルジン、歯根; シン	2
C-05	DEMONSTRATION MODEL	補綴物模型	構成: 上顎、下顎、リガガット、レジン義歯床	1
C-06	PATHOLOGICAL STUDY MODEL	歯牙総合病理模型	4倍大	2
C-07	MANDIBLE STUDY MODEL	下顎骨組織模型	材質:歯キルジン及び歯キルジン	2
C-08	MODEL OF CROWN CARVING PROCEDURE	歯冠彫刻順序模型	材質:歯キル	2
C-09	ADULT SKULL MODEL	頭蓋骨複製模型	成人 材質:プラスチック	2
C-10	LABORATORY ENGINE (MOTOR & HANDPIECE)	技工用エンジン	卓上型、モーター:1.1km/cm/8,000rpm、ハンドピース:25,000rpm	10
C-11	DENTAL LATHE MACHINE	技工用レーサー	卓上型、モーター:140W/0~7,000rpm、フットペダル付き	5
C-12	MODEL TRIMMER	モデルナイフ	卓上型、モーター:250W	2

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕 様	数量
C-13	RESIN CURING UNIT	レジン重合器	卓上型:ヒーター:750W、槽内寸:φ240mm X H240mm	2
C-14	RING FURANACE	リングフー	最高温度:1,000°C 消費電力:800W 炉内寸法:W115XD180XH90mm	2
C-15	SAND BLUSTER	サンドブラスター	小型 15W照明付き 寸法:W280 X D240 X H300mm 付属品:砂	2
C-16	HIGH SPEED GRINDER	高速メス	回転数:10,000/24,000rpm カバー付	2
C-17	ARTICULATOR	咬合器	平均値型	10
C-18	EDUCATIONAL MODEL	教育実習用モデル	構成:メタル、プラスチック、セルロ、硬質ゴム前装冠ブリッジ	5
C-19	GRIND/POLISH WORK BENCH	研磨作業台	材質:木製、外装ポリ樹脂 付属:パキエースW、電源ケーブル、レースSW 寸法:W1,000 X D500 X H900mm	2
C-20	MODELLING WORK BENCH	模型処理作業台	材質:木製、外装ポリ樹脂 付属:電源ケーブル、給水栓、排水トラップ 寸法:W1500 X D500 X H900mm	2
C-21	POLYMERIZATION WORK BENCH	重合作業台	材質:木製、外装ポリ樹脂 付属:電源ケーブル	2
C-22	CASTING WORK BENCH	鑄造作業台	寸法:W800 X D500 X H900mm	2
C-23	AIR COMPRESSOR FOR WORK BENCH	作業台用エアコンプレッサー	材質:木製、外装ポリ樹脂、天板特殊加工ガラス板 付属:エアバルブ 電源ケーブル 寸法:W1110 X D500 X H780/1310mm	2
C-24	INSTRUMENT CABINET	機材キャビネット	材質:スチール 扉/鍵付き 寸法:W880 X D380 X H1790mm	1
C-25	DENTAL DUST COLLECTOR	歯科用集塵装置	工業用掃除機	2
C-26	LABORATORY SMALL ITEMS	技工室用小物器具	構成:ステンレス、プラスチック、手用器具、ミラー、スケールバー等	1
D.FACULTY OF ENVELOPMENTAL HEALTH SCIENCE				
D-01	LABORATORY BALANCE 2Kg	実験室用天秤	電子天秤:2100 X 0.01g	5
D-02	LABORATORY BALANCE 200g	実験室用天秤	電子天秤:210g X 0.001g	5
D-03	ANALYTICAL BALANCE	簡易分析用天秤	電子天秤:180 X 0.00001g 風防付き	5
D-04	MAGNETIC STIRRER	マグネティックスター	攪拌容量:1000ml、回転数:1500rpm	5
D-05	WATER BATH	恒温槽	温度範囲:室温+5~95°C 容量:W230 X D300 X H130mm 温調	5
D-06	TABLE TOP CENTRIFUGE	卓上遠心器	15mmチューブ 8本掛け 回転数:4000rpm 2000xg	5
D-07	STEREOSCOPIC MICROSCOPE	立体顕微鏡	倍率:20x 40x 70x 200x 双眼	5
D-08	BIOLOGICAL MICROSCOPE	生物学顕微鏡	倍率:50x~1500x、カメラ付、双眼	5
D-09	INCUBATOR	培養器	温度範囲:+5°C~80°C 炉内寸法:W600 X D510 X H500mm	2
D-10	ROTOR BEATER MILL	回転粉砕器	モーター:1.1Kw 3000rpm ローター:ステンレス製6枚刃	1
D-11	BALL MILL	オートクレーブ卓上型	モーター:105W 0~450rpm タイマー付き	1
D-12	AUTO CLAVE DESK TOP	水分計	容量:10g 温度:110~127°C 圧力:0~1.5kg/cm ² タイマー:0~60min	1
D-13	MOISTURE METER	水分析	測定範囲:0~100% デジタル方式	1
D-14	WATER DISTILLER	蒸留水製造装置	蒸留水採取量:5g/h	1
D-15	COLONY COUNTER	コロニーカウンター	デジタル表示 カウンター方式	2
D-16	FURNACE	電気炉	最高温度1000°C 容量:4.5g	1
D-17	PORTABLE PH METER	携帯型PHメーター	測定範囲:0~14pH、精度:±0.1pH、電源:AC/DC6V(006P)	5

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕 様	数量
D-18	DESK PH METER	実験室用PHメータ	測定法: ガラス電極法、測定pH: 0~14pH、測定電圧: -2000~+2000mV	2
D-19	SALINITY/CONDUCTIVITY/TEMP. METER	塩分・伝導度・温度計	測定範囲: 0.1~10%、分解能: 0.01%(0~0.99%)、0.1%、1.0~9.9%(1.0~9.9%)、1%(10~25%) HORIBAC-121	5
D-20	PORTABLE DO METER	携帯型溶存酸素計	測定範囲: DO: 0~20mg/l、O ₂ : 0~100%、飽和率: 0~200% 温度: 0~50°C 電源: DC3V(UM3 X 2)	5
D-21	BOD METER	生物化学的酸素要求量計	メー変用法 構成: ビュレット、滴瓶、ワッシャー、ピペット等 試薬含む	5
D-22	COD METER	化学的酸素要求量計	計測原理: 電量測定 測定範囲: 0~10, 50, 1000mg/l 試薬含む 計測レンジ: 0~200mg/l 試薬を含む	1
D-23	PORTABLE TURBIDIMETER	携帯型濁度計	測定範囲: 濁度0.5~15 色度: 2~20	5
D-24	PORTABLE WATER ANALYZER	携帯型水質試験器セット	測定項目: 濁度、色度、硬度、pH値、残留塩素、陰イオン活性剤、シアン、フェノール類	2
D-25	SUSPENDED SOLID ANALYZER	懸濁物質(S.S)測定器	構成: 試料容器、スター、フィルター、ホウ酸、攪拌子、収納箱、メモータ	2
D-26	WATER SAMPLER	採水器	容量: 500ml 付属: 重り金具、ワッシャー、リール	5
D-27	BOD WATER SAMPLER	BOD採水器	容量: 300ml 付属: 重り金具、ワッシャー、リール	5
D-28	INCUBATOR BOTTLE FOR BOD TESTING	BODワッシャー	容量: 300ml 硬質硝子カバー付き	30
D-29	POLARIMETER	偏光計	旋光度目盛: +180° ~ -179° 光源: ナリウムランプ	1
D-30	SEDIMENT TESTER	沈澱計	本製スライド付き	2
D-31	LACTOMETER	乳脂計	構成: 牛乳比重計、比重用円筒	10
D-32	PORTABLE SOUND LEVEL METER	携帯型騒音計	測定範囲: 30~130dB(A), 40~130dB(B,C), エンゲルマン・マウ、電源: AC/DC6V(UM-3 X 4)	2
D-33	PORTABLE MINI ANEMOMETER	携帯型微風速計	測定範囲: LOW 0.05~2.50m/s HIGH 2.50~25.0m/s 電源: AC/DC 9V(UM3 X 6)	2
D-34	PORTABLE ILLUMINOMETER	携帯型照度計	測定範囲: 5000 lx、受光器: セン、電源: 不要	5
D-35	PORTABLE DUST MONITOR	携帯型粉塵計	測定感度: XI ICPM=0.01mg/m ³ X10 ICPM=0.1mg/m ³ 電源: AC/DC	2
D-36	PORTABLE LOW VOLUME AIR SAMPLER	携帯型低ボリュームエアサンプラ	吸引流量: 20 l/分、濾紙有効径: φ55mm	2
D-37	PORTABLE HYGROTHERMOMETER	携帯型温・湿度計	温度/湿度測定範囲: -10~+60°C/20~99.99%RH 電源: DC 9V	2
D-38	HANDY SALINITY REFRACTOMETER	手持ち海水濃度屈折計	測定範囲: 0~100% 比重: 1.000~1.070、電源: 不要	5
D-39	HANDY OIL REFRACTOMETER	手持ち油脂屈折計	屈折率目盛: 1.435~1.520 最小目盛: 0.001 電源: 不要	5
D-40	AUDIO METER	聴力測定器	聴力レベル: 1,000Hz, 4,000Hz 測定範囲: 25, 30, 35, 40, 45, 70dB	2
D-41	INSTRUMENT CABINET	機材キャビネット	材質: スチール 扉/鍵付き 寸法: W880 X D380 X H1790mm	2
D-42	MICRO KJELDAHL DISTILLING APPARATUS	マイクロケルダール窒素蒸留装置	構成: 真空瓶、排気筒、冷却器、曲管、ポート、ワッシャー、他小物付属品	2
D-43	BUILDING ENVELOPMENTAL INSPECTION SET	建物環境検査教育器具セット	構成: 工具セット、バース、クワッド等	5
D-44	LEVEL MACHINE	オートレベル	倍率: 22X 視界: 1'30" 分解能: 4.5' 水平分度直径: 80mm 三脚付	5
D-45	STAFF BAR	標尺(スタッフ)	材質: アルミ 5m5段 裏面横目盛: 1, 265mm	10
D-46	PIN HOLE SET	ピンホールセット	構成: 30cm X 6 φ 50cm X 6 φ 60cm X 6 φ 1mx9 φ 1.5mx9 φ 2mx9 φ	10
D-47	TAPE MEASURE	タペジャー	材質: ナイロン スチール 寸法: 10mm幅 0.5mm厚 さ50m 標準張力: 5kgf	10

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕 様	数量
D-48	WATER SUPPLY & DRAINAGE SANITATION SET	給・排水衛生施設教育器具セット	構成: 鋼管配管部品各種 PVC配管部品各種 (現地調達)	5
D-49	VECTOR & VERMIN CONTROL SET	媒介獣・小害獣駆除教育器具セット	構成: 鼠籠・鼠取り・採取ロープ・フクロボック・標型(蚊・蠅・等)	1
D-50	COMPRESSION SPRAYER	薬剤散布用スプレー	背負手押しスプレー 容量: 9.0 圧力: 5~7Kg/cm ²	10
E. FACULTY OF RADIOLOGY				
E-01	MOBILE X-RAY APPARATUS	放射線技術学部	最高管電圧: 100kV 最高管電流: 200mA	1
E-02	TRAINING STOMACH FANTOM	移動用X線装置	質: 特殊合成樹脂(XPEF)	1
E-03	TRAINING QUALITY EVALUATION FANTOM	放射線教育用マン・ソファントム	凹型 デインブル径: φ1mm~8mm, 0.5mm刻み	1
E-04	HUMAN SKELETON	放射線教育用画質評価phantom	骨格交連型 ゴム吊式	1
E-05	HUMAN BODY MODEL	人体骨格模型	全長1m 材料: 合成樹脂 分解数30	1
E-06	HUMAN UPPER LIMB MODEL	人体解剖模型	全長70cm 分解数: 15	1
E-07	HUMAN LOWER LIMB MODEL	下肢模型	全長90cm 分解数: 27	1
E-08	ADULT SKULL MODEL	頭蓋骨複製模型	成人 材質: プラスチック	2
E-09	DOSIMETER	放射線線量率計	線種: X線, γ線, β線 電離箱検出 瞬間積算線量当量10 μSv 測定範囲: 0~10 μSv/hX1, X10, X100, X1,000切替	1
E-10	DARK ROOM EQUIPMENT SET	暗室用器材	構成: 手焼現像・焼き付け・引き延ばし等	1
E-11	X-RAY PROTECTION WEARS	X線防護衣料	構成: 手袋, エプロン, 帽子, 顔面覆 鉛当量: 0.25mmPb	5
E-12	X-RAY FILM CABINET	X線フィルム棚	材質: スチール 棚数: 6段 寸法: 370 X 469 X 2128mm	2
E-13	INSTRUMENT CABINET	機材キャビネット	材質: スチール 扉/鍵付き 寸法: W880 X D380 X H1790mm	2
E-14	PORTABLE ULTRASONIC DIAGNOSTIC APPARATUS	携帯型超音波診断装置	付属プローブ: 5MHz, 感度: 47.5~100dB	1
E-15	FILM VIEWER	シヤカワソ(フィルム観察器)	壁掛け型 外型寸法: 1,004 X 88 X 485mm	5
E-16	CHEST MEASURING INSTRUMENT	胸測計	最大計測: 500mm	5
E-17	CASSETTE EXCHANGER BOX	カセット交換ボックス	両側開き 1mm厚鉛張り 半切カセット以下	2
E-18	FILM LOADING BOX	フィルム装填台	寸法: W1200 X D600 X H800	1
E-19	X-RAY FILM STORAGE BOX	フィルム保存箱	半切以下20打格納 寸法: W535 X D385 X H550	2
F. FACULTY OF COMMUNITY ORAL HEALTH				
F-01	DENTAL UNIT	口腔衛生学部	構成: エアモーター, マイカモーター, トリプルリッジ, 排唾管, エアリッカー, 椅子	2
F-02	DENTAL INSTRUMENT CABINET	歯科用治療台	材質: スチール 付属: 引出5ヶ, 寸法:	2
F-03	DENTAL X-RAY DIAGNOSTIC UNIT	歯科用器械棚	管電圧: 60kV 管電流: 10mA 付属: 予備管球	1
F-04	DARKROOM EQUIPMENT SET	歯科用X線装置	手焼現像・焼き付け・引き延ばし機器等一式	1
F-05	ULTRASONIC SCALER	暗室用器材	出力: 72W 発信周波数: 25, 000Hz	1
F-06	AMALGAMATOR	超音波歯石除去器	消費電力: 50W	1
F-07	BOILING STERILIZER	アマルガメーター	消費電力: 300/600W 槽内寸法: W300 X D145 X H100mm	2
F-08	PULP TESTER	卓上煮沸滅菌器	構成: 伝導性ハートロッド, プローブ	2
F-10	INSTRUMENT SET FOR DENTISTRY	歯髓診断器	構成: エルベーター類, 鉗子類, 開口器, シリッジ, 網ノコ等	1
F-25	MINOR ORAL SURGERY INSTRUMENTS	歯科用器材セット	構成: 鉗子類, キュレット類, フォルシヤール類, ベリフォルシヤール類, ナス等	1

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕 様	数量
G. FACULTY OF MEDICAL LABORATORY TECHNOLOGY				
A. CLINICAL CHEMISTRY SECTION				
G-A01	COLORIMETER	臨床検査学部 臨床化学検査室 比色計	光源ランプ: W フラウ表示: 透過率0~100% 吸光度0~2	2
G-A02	CELLULOSE ACETATE ELECTROPHORESIS APP.	セルロースアセテート膜電気泳動装置	材質: 透明アクリル、検体数: 1cm 塗布20検体 付属: 泳動用安定電源	2
G-A03	ACCESSORY FOR C. A. ELECTROPHORESIS	セルロースアセテート膜電気泳動用外	構成: ハット、指圧 ϕ 、外、ビ、セト、球、外、濾紙等	2
G-A04	IMMUNO AND AGAR ELECTROPHORESIS APPARATUS	寒天・免疫電気泳動装置	構成: 泳動層、寒天層作成用水平台、ゲルカッター、沈降線観察装置、沈降反応用恒湿箱、泳動用安定電源	2
G-A05	ISOELECTRIC FOCUSING DISK GEL ELECTROPHORESIS APPARATUS	等電点ディスク電気泳動装置	材質: アクリル樹脂 検体数: 1~12検体 付属: 泳動用安定電源 東洋EP-12C PS2020	2
G-A06	DESK PH METER	実験室用PHメーター	測定法: カンテ電極法、測定pH: 0~14pH、測定電圧: 2000~42000mV	2
G-A07	THIN-LAYER CHROMATOGRAPHIC APPARATUS	薄層加圧クロマト装置	構成: アクリル板、薄層塗布用ガラス板、乾燥棚、貯蔵箱、展開箱、噴霧器、球、外用棚、シロ ϕ 、外、厚さゲージ 東洋IC-20	2
G-A08	HANDY URINE S. G. REFRACTOMETER	手持ち尿比重屈折計	尿比重目盛: 1.000~1.050、最小目盛: 0.001	5
G-A09	HANDY SERUM PROTEIN REFRACTOMETER	手持ち血清蛋白屈折計	血清蛋白目盛: 0~12g/100ml、屈折率目盛: 1.333~1.360	5
G-A10	GLASSWARE FOR CLINICAL CHEMISTRY	臨床化学検査用ガラス器具	構成: 試験管、ビ、エレット、ビ、カー、ワラコ、	1
G-A11	SMALL ITEMS FOR CLINICAL CHEMISTRY	臨床化学検査用小物器具	構成: 試験管立て、ビ、エレット、スタンド、	1
G-A12	INSTRUMENT CABINET	機材ヤビ ϕ 柵	材質: スチール 扉/鍵付き 寸法: W880 X D380 X H1790mm	1
B. BACTERIOLOG SECTION				
G-B01	INCUBATOR	細菌検査室 培養器	温度範囲: +5 $^{\circ}$ C~80 $^{\circ}$ C 炉内寸法: W600 X D510 X H500mm	2
G-B02	CO2 INCUBATOR	炭酸ガスインキュベーター	内容積: 80 ϕ CO ₂ 濃度範囲: 0~20.0%Vol 消費電力: 226W	1
G-B03	BOILING STERILIZER	煮沸滅菌器	消費電力: 1kW 内寸法: 360 X 180 X 120mm スチルス製	1
G-B04	BIOLOGICAL MICROSCOPE	生物学顕微鏡	倍率: 50x~1500x カンツカスライズ付き 双眼	5
G-B05	COLONY COUNTER	コロニーカウンター	ディスプレイ表示 カンツカス方式	2
G-B06	TABLE TOP CENTRIFUGE	卓上遠心器	4000rpm 2200Xg アングル・ロータ: 50m ϕ x4 スイング・ロータ: 15m ϕ x6	2
G-B07	INSTRUMENT CABINET	機材ヤビ ϕ 柵	材質: スチール 扉/鍵付き 寸法: W880 X D380 X H1790mm	1
C. PARASITOLOGY				
G-C01	BIOLOGICAL MICROSCOPE	寄生虫学検査 生物学顕微鏡	倍率: 50x~1500x カンツカスライズ付き 双眼	5
G-C02	TABLE TOP CENTRIFUGE	卓上遠心器	4000rpm 2200Xg アングル・ロータ: 50m ϕ x4 スイング・ロータ: 15m ϕ x6	2
G-C03	STAINING JAR	染色器	スライドガラス用 材質: ガラス製	10
G-C04	STAINING JAR STAND	染色器立て	材質: 木製 7枚用	2
G-C05	STAINING BASKET	染色バシカト	材質: スチルス製 スライドガラス20枚用	5
G-C06	GLASSWARE FOR STAINING PREPARATION	染色準備用ガラス器具	ピペット、試験管、ワラコ、マシリンダ ϕ 等	1
G-C07	INSTRUMENT CABINET	機材ヤビ ϕ 柵	材質: スチール 扉/鍵付き 寸法: W880 X D380 X H1790mm	1

NO. | NAME OF EQUIPMENT | 日本名 | 仕 様 | 数量

D. HEMATOLOGY SECTION

G-D01	BLOOD CELL COUNTER	血液検査室板	トマ式 目盛線:1 X 1 X 0.1mm	5
G-D02	HANDY TALLY COUNTER	血球計算板 数取器	カノ数:0~9999 計外付き	5
G-D02	BIOLOGICAL MICROSCOPE	生物学顕微鏡	倍率:50x~1500x 蛍光カシヤジ 付き 双眼	5
G-D04	ELECTROPHORESIS APPARATUS	電気泳動装置	カノアジヤト用 電源装置付き	2
G-D05	SPECTROPHOTOMETER	分光光度計	波長:340~950nm 波長幅:10nm	2
G-D06	TABLE TOP CENTRIFUGE	卓上遠心器	4000rpm 2200Xg 7ヶル・ロータ:50mlx4 スイング・ロータ:15mlx6	2
G-D07	HEMATOCRIT CENTRIFUGE	ヘト遠心機	回転数:12,000rpm 15,000Xg	2
G-D08	INCUBATOR	インキュベーター	温度範囲:+5°C~80°C 内容積:97ℓ	1
G-D10	HOT AIR STERILIZER	乾熱滅菌装置	温度範囲:室温+20°C~120°C 内容積:60ℓ	1
G-D11	AUTOClave	高圧滅菌器	内寸法:220φ x 350mm 材質:ステンレス製	1
G-D14	SHAKER	振盪器	回転数:20~160rpm タイマ付き	1
G-D15	WATER BATH	ウォーターバス	槽内寸法:300 x 455 x 160mm 温度範囲:室温~75°C	1
G-D16	COAGULOMETER	血液凝固計	カプル量:1ml デジタル表示	1
G-D17	BLOOD GLUCOSE METER	血糖測定計	測定範囲:0~999mg/dℓ カプル量:10μℓ	1
G-D18	STANDARD HEMOMETER	標準血色素計	比色台 他	2
G-D19	BLOOD SPREADER	血液塗抹板	材質:アクリル製	50
G-D20	BLOOD SEDIMENTATOR	赤血球沈降速度測定装置	血沈台(スチール製) 血沈:ペ 計10本用	5
G-D21	BILIRUBIN CORORIMETER	ビリルビンコロールメーター	目盛り付き比色計	5
G-D22	AUTOLET	ラネト	採血針200枚入り	50
G-D23	COLONY COUNTER	コロニーカウンター	3桁デジタル表示	2
G-D24	DESICCATOR	デシケーター	中板径:180mmφ 硝子製	2
G-D25	LABORATORY SMALL INSTRUMENTS	検査室用器具セット	ピペット、撈拌子、ハ、外、ナイフ、クリップ、試験管立て等	1
G-D26	GLASSWARE SET	ガラス器具セット	試験管、ピ、外、ピ、カー、フラスコ、コト、マスシリンダー等	1
G-D27	PH METER	ペーハーメーター	測定範囲:PH1~11 ロータイ	5
G-D28	WATER BATH	恒温槽	温度範囲:室温+20°C~75°C 槽内寸法:300 X 455 X 160mm	1
G-D29	BLOOD GLUCOSE METER	血糖値測定計	寸法:内径6mmφ 目盛りチューブ付き	5
G-D30	ULTRASONIC CLEANER	超音波洗浄器	槽内寸法:150 X 140 X 65mm 15分タイマ付き	1
G-D31	DONOR BED	採血用ベッド	天板寸法:1800 X 600 X 600mm 上肢台付き	2
G-D32	BLOOD BANK REFRIGERATOR	血液保存用冷蔵庫	血液:7ヶ 50ヶ用 容量100ℓ	1
G-D33	INSTRUMENT CABINET	機材キャビネット	材質:スチール 扉/鍵付き 寸法:W880 X D380 X H1790mm	2
G-D36	HEMATOCRIT CENTRIFUGE	ヘト遠心器	回転数:12,000rpm 15,000Xg	1
G-D38	ELISA SYSTEM	酵素免疫測定装置	構成:プレート、アブソロブションプレート、マイクロウェルプレート、マイクロウェルプレート、マイクロウェルプレート、マイクロウェルプレート	2

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕	様	数量
E. HISTOPATHOLOGY SECTION					
G-C01	BIOLOGICAL MICROSCOPE	組織病理学			5
G-E02	SMALL ROTARY MICROATOM	生物学顕微鏡			2
G-E03	SMALL SLIDING MICROATOM	型回転式ミクロトム			2
G-DE4	FREEZING MICROATOM	小型滑走式ミクロトム			2
G-D05	PARAFFIN BATH	凍結切片ミクロトム			2
G-E06	PARAFFIN SPREADING APPARATUS	パラフィン溶融器			2
G-E07	PARAFFIN VACUUM BURYING APPARATUS	パラフィン伸展器			2
G-E08	PARAFFIN BURYING FRAMES	パラフィン真空包埋装置			5
G-E09	PARAFFIN BURYING DISHES	パラフィン包埋組立枠			5
G-E10	PARAFFIN PAN	パラフィン包埋皿			5
G-E11	PARAFFIN CUTTING AND SMOOTHING IRON	パラフィン溶融鍋			5
G-E12	PARAFFIN MOULDS	パラフィン切斷融着こて			5
G-E13	BURYING BASKET	パラフィン包埋枠			5
G-E14	HISTO FUME HOOD	包埋かご			1
G-E15	DETECTION STAND	ヒストロームフード			2
G-E16	BLOCK ADJUSTING BOXES	検出台			2
G-E17	SPECIMEN BOXES	ブロック整理箱			2
G-E18	CARD FILING BOXES	標本箱			2
G-E19	TISSUE INFILTRATER	カード整理箱			2
G-E20	HISTOLOGICAL DISSECTING APPARATUS	組織標本浸透器			2
G-E21	HOMOGENIZER	解剖器具セット			5
G-E22	STAINING JAR	ホモゲナイザー			5
G-E23	SLIDE BASKET	染色壺			5
G-E24	STAINING JAR HOLDER	染色バスケット			5
G-E25	VDRL SET	染色壺台			2
G-E26	SERUM REACTION SLIDE GLASS	梅毒診断セット			1
G-E27	VIEW BOX	血清反応用ガラス板			5
G-E28	INCUBATOR	血液血清観察箱			2
G-E29	WATER BATH	恒温器(シキエハーター)			1
G-E30	MAGNETIC STIRRER	ウォーターバス			1
G-E31	TEST TUBE MIXER	マグネティックスターラー			5
G-E32	LABORATORY BALANCE	試験管ミキサー			5
G-E33	TISSUE SPECIMEN MODEL SET	実験室用天秤			5
G-E34	PATHOLOGICAL TRAINING SPECIMEN SET	人体組織解剖用パラット			5
G-E35	HEMACYTOMETER	病理解剖実習用パラット			5
		血球計算盤			5

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕 様	数量
I. FACULTY OF PHYSIOTHERAPY				
I-1	TRACTION UNIT	物理療法学部 牽引装置	腰椎・頸椎両用	2
I-2	MICROWAVE THERAPY APPARATUS	マイクロ波治療器	発信周波数2450MHz	2
I-3	LOW FREQUENCY SIMULATOR	低周波治療器	マルチ周波数1~500Hz プログラム・モト付き	2
I-4	INFRARED RAY LAMP	赤外線治療装置	スクリーン型 寸法:W450 X D450 X H1800mm	2
I-5	PARAFFIN BATH	パラフィン浴治療装置	寸法:L425 X W310 X H250mm	2
I-7	SHOULDER WHEEL	肩関節運動器	寸法:W140 X D380 X H1300mm	2
I-8	WRIST ROLL MACHINE	手首運動器	爪付式	2
I-9	BICYCLE EXERCISER	自転車運動器	脈拍計付、作ゼン付	2
I-10	ROWING MACHINE	漕艇運動器	寸法:L1500 X W1960 X H550mm	2
I-11	WALL STALL BARS	肋木	ハ一段数:15 寸法:W1000 X D340 X H2430mm	2
I-12	WHEEL CHAIR	車椅子	折り畳み式 大車輪径:24inch	2
I-13	WALKER	歩行車	折り畳み式 キャスター付き	2
I-14	PARALLEL BARS	平行棒	ステンレスパイプ 長さ:3500mm	1
I-15	EXERCISE STAIRS	歩行訓練用階段	材質:木製 ロープ付き	1
I-16	DUMBBELL SET	鉄重鈴セット	皿合9組(各2個) 架台付き	1
I-17	INSTRUMENT CABINET	機材キャビネット	材質:スチール 扉/鍵付き 寸法:W880 X D380 X H1790mm	2
J. FACULTY OF OCCUPATIONAL THERAPY				
J-01	SWEING MACHINE	作業療法学部 シシ	足踏み式 現地調達	5
J-02	LEATHER WORK THERAPY SET	皮革工芸作業療法科	構成:加針、木槌、刻印棒、皮刀、鉋、曲尺、ポンチ等50点以上	5
J-03	WOOD WORK THERAPY SET	木工作業療法科	構成:小型電気ドリル、ノコギリ、鋸類、鉋類、鑿類等50点以上	5
J-04	METAL WORK THERAPY SET	金工作業療法科	構成:タガネ類、槌類、ヤジリ類、万力類、ヤットコ類、電気ドリル等40点以上	5
J-05	WORK TABLE	作業台	材質:木製 寸法:W1200 X D600 X H700 (出来れば現地調達)	5
I-17	INSTRUMENT CABINET	機材キャビネット	材質:スチール 扉/鍵付き 寸法:W880 X D380 X H1790mm	2
K. FACULTY OF CLINICAL MEDICINE				
A. BASIC COURSE				
K-A01	BLOOD PRESSURE APPARATUS	臨床医学部 基礎コース	水銀血圧計	20
K-A02	STETHOSCOPE	聴診器	教育用聴診器	200
K-A03	CLINICAL THERMOMETER	体温計	水銀体温計(12本入り)	200
K-A04	EXAMINATION COUCH	診察台	寸法:L2000 X D800 X H550 材質:スチール製 レザー貼り 枕、診察台カバー、枕カバー付き	2
K-A05	EXAMINATION SCREEN	衝立	材質:スチール製 布7折付 三折り 寸法:W2700 X 1760mm	5
K-A06	SURGICAL KIT	手術用器具科	構成:各種鉗子、各種剪、鉋、スクリュー類	10
K-A07	ANATOMIC HUMAN BODY	人体解剖	12分解	1
K-A08	HUMAN SKELETON	人骨骨格	骨格交連型、各部位番号及び説明書付	1
K-A09	CIRCULATION MODEL OF BLOOD	血液循環系統	骨格付き	1

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕	様	数量
K-A10	PREGNANCY MODEL	妊娠模型(骨盤と胎児)	実物大、3分解、台付き		1
K-A11	DIGESTIVE ORGANS MODEL	消化器系模型	実物大、3分解、台付き		1
K-A12	LUNG MODEL	肺模型	実物大、7分解、台付き		1
K-A13	HEART MODEL	心臓模型	実物の半、バウス血管付、2分解、台付		1
K-A14	MUSCLE MODEL	筋肉模型	実物の半、33分解、内臓器付付き		1
K-A15	HEAD MODEL	脳及び神経系模型	実物大、9分解、台付き		1
K-A16	EQUILIBRIUM FUNCTION MODEL	平衡覚器模型	実物の半、4分解、台付き		1
K-A17	VISUAL ORGAN MODEL	視覚器模型	実物の3倍、6分解台付き		1
K-A18	CHART	掛け図	30種		1
K-A19	HEAD MIRROR AND BOWS LIGHT	額帯電灯	電球式		5
K-A20	X-RAY FILM VIEWER	シヤカタン	1段壁掛け式 大陸半枚用		1
K-A21	INSTRUMENT CABINET	機材キャビネット	材質:スチール 扉/鍵付き 寸法:W880 X D380 X H1790mm		1
B. ANESTHESIA COURSE					
K-B01	ANESTHETIC MACHINE	麻醉機	7ローター:0.1~10ℓ/分 笑気0.5~10ℓ/分 気道内モニター付き		2
K-B02	VENTILATOR	人工呼吸装置	PEEP/CPAP可能 一回換気量:200~1000ml O ₂ -Air7レゾナ-:21~100%		2
C. PEDIATRIC COURSE					
K-C01	EXAMINATION COUCH FOR CHILD	小児科コース	寸法:L1800 X D600 X H550 材質:スチール製 レサ-貼り		2
K-C02	STEP	踏台	枕、診察台カバー、枕カバー付き		2
K-C03	BABY STETHOSCOPE	小児用聴診器	2段式 寸法:W400 X D400 X H450		20
K-C04	NEBULIZER	初ラ付-	噴霧能力:4ml/min以上 機能:タイマ-、噴霧量調節、風量調節		2
K-C05	INFANT WEIGHING SCALE	新生児体重計	秤量:10kg 感量:20g		1
K-C06	PEDIATRIC WEIGHING SCALE	乳児体重計	秤量:31kg 使用範囲:1kg~31kg		1
K-C07	OTORINOLARYNGOSCOPE	耳鼻咽喉鏡	耳鼻咽喉用エバ-ガル型 小児用		2
K-C08	X-RAY FILM VIEWER	シヤカタン	1段壁掛け式 大陸半枚用		1
K-C09	PEDIATRIC DIAGNOSTIC INSTRUMENT SET	小児科診察器具セット	構成:脱衣籠、手洗鉢、打診器、 ^ハ ソノイ、喉頭鏡、指頭消毒器、卓上ガラス消毒器、 ^ガ ゼ ^ビ 瓶、 ^駆 血 ^帯 、 ^臍 盆、 ^カ ラ ^テ ル ^ト レ、綿棒立て、綿球入、舌圧子、剪刀、 ^ヒ ツ ^セ ツ、 ^鉗 子、 ^ス ス、等		1
K-C10	MEDICAL INSTRUMENT CABINET	器械戸棚	診察室用 スチール製 寸法:W750 X D360 X H1700		1
D. OPHTHALMOLOGY COURSE					
K-D01	OPHTHALMOSCOPE	眼科コース	測定範囲:6.4R~9.4R 36D~52D 乱視軸:0°~180°		2
K-D02	RETINOSCOPE	角膜曲率計	交流/直流両用型 光源:ハロゲン		2
K-D03	EXOPHTHALMOMETER	検影器			2
K-D04	TRIAL LENSSET	眼球突出計	レンズセット:40対 キャビネット型 視力検査装置共		2
K-D05	SLIT LAMP	眼科レンズセット	倍率:6X~40X スリット幅0~10mm 照明電球:ハロゲン球 光学台付		2
		細線灯顕微鏡(カソトランプ)			2

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕 様	数量
K-D06	TONOMETER	眼圧計	シュツ氏眼圧計	2
K-D07	BASIC INSTRUMENTS FOR EYE SURGERY	基礎的眼科手術器具セット	剪刀類、ニードル類、鑷子類、スパテール類、ワグ類	1
K-D08	INSTRUMENT BOILING STERILIZER	器具煮沸滅菌器	材質: ステンレス 寸法: W360 X D180 X H120mm 電気式	2
K-D10	INSTRUMENT CABINET	器械戸棚	診察室用 スチール製 寸法: W750 X D360 X H1700	1
K-D11	EQUIPMENT CABINET	機材戸棚	鉄製 W1760 X D515 X H1066mm ベース付き	2
E. OTORINOLARYNGOLOGY COURSE				
K-E01	OTORINOLARYNGOSCOPE	耳鼻咽喉科鏡	耳鼻咽喉用ニハール型 小児用	2
K-E02	HEAD MIRROR	額帯鏡	電球式	5
K-E03	HEAD MIRROR AND BOWS LIGHT	額帯電灯	材質: スチール フレキ、ネット	5
K-E04	EXAMINATION LIGHT	診察灯		5
K-E05	TUNING FORK	チューニングフォーク		2
K-E06	AUDIO METER	聴力測定器	聴力レベル: 1,000Hz、4,000Hz 測定範囲: 25、30、35、40、45、70dB	2
K-E07	TYMPANOMETER	耳管機能検査装置	圧力測定範囲: +200~2000daPa	2
K-E08	ENT TREATMENT UNIT	耳鼻咽喉科用治療台	機能: 吸引ポンプ、エアブロー、リッチャ、汚物瓶、スプレー装置、通気装置	2
K-E04	ENT TREATMENT CHAIR	耳鼻咽喉科用治療椅子	電動油圧式	2
K-E09	INSTRUMENT SET FOR ORL	耳鼻咽喉科用器具セット	構成: ピンセット、洗浄管、耳鏡、鉗子、鉗子類、剪刀類、匙類、等	2
K-E10	INSTRUMENT BOILING STERILIZER	耳鼻咽喉科用器具煮沸滅菌器	材質: ステンレス 寸法: W360 X D180 X H120mm 電気式	2
K-E11	INSTRUMENT CABINET	器械戸棚	診察室用 スチール製 寸法: W750 X D360 X H1700	1
F. PLASTER TECHNICIANS COURSE				
K-F01	PLASTER TABLE	ギプス台	材質: ステンレス	2
K-F02	PLASTER SHEAR	ギプス用剪刀	材質: ステンレス 全長: 235mm	10
K-F03	PLASTER SCISSOR	ギプス用はさみ	材質: ステンレス 全長: 200mm	10
K-F04	PLASTER BENDER	ギプス用開閉器	材質: ステンレス 全長: 300mm	10
K-F05	PLASTER KNIFE	ギプス刀	材質: ステンレス 全長: 190mm	10
K-F06	ELECTRIC PLASTER CUTTER	電動ギプスカッター	交流使用 ブレード長: L35 X T0.7mm 及びL43 X T0.7mm	2
K-F07	PLASTER SAW	ギプスカッター用刃	材質: ステンレス 寸法: 60φmm (3枚入り)	5
K-F08	BOHLER IRON	骨錐ドリル	材質: ツルメニウム チェック径90~6mm	2
L. FACULTY OF PHARMACY				
L-01	PHARMACEUTICAL REFRIGERATOR	薬学部	前面ガラス扉 温度範囲: 2°C~14°C 容量: 120ℓ	2
L-02	DRAFT CHAMBER	薬用保冷庫	標準型 材質: スチール 排気ファン: 0.25KW	1
L-03	CENTRIFUGAL BALL MILL	ドラフトチェンバー	モーター: 100W 0~450rpm タイヤ: 1~60又は連続 硬質磁器ボール付き	2
L-04	HOT AIR DRYER	遠心回転ボールミル	強制循環式 消費電力: 2KW	1
L-05	LABORATORY BALANCE 200g	熱風乾燥器	電子天秤: 210g X 0.001g	5
L-06	ANALYTICAL BALANCE	実験室用天秤	電子天秤: 180 X 0.00001g 風防付き	5
L-07	PORTABLE PH METER	簡易分析用天秤	測定範囲: 0~14pH、精度: ±0.1pH、電源: AC/DC6V(006P)	5
L-08	MEDICINE CABINET	携帯型PHメーター	予包剤キックネット: W1005 X D460 X H1851mm	2

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕 様	数量
L-09	THIN-LAYER CHROMATOGRAPHIC APPARATUS	薄層カマトグラフ装置	構成: プラチナ板、薄層塗布用ガラス板、乾燥棚、貯蔵箱、展開箱、展開箱、 噴霧器、スプレッティング、外厚さゲージ 東洋HC-20	2
L-10	COLLAPTION METER	崩壊度試験器	積算時間計なし	2
L-11	MELTING POINT MEASURING APPARATUS	融点測定器	浸線付温度計6本組を含む	2
L-12	PHARMACEUTICAL SMALL ITEMS	調剤用小物器具	構成: 温度計、試験管立、蒸発皿、浸煎剤器、重湯煎器、ブレンダ、 局方篩、ヒート、外台、ワグ、挟、ロート台、薬匙、篋、磁器乳鉢等	1
L-13	PHARMACEUTICAL GLASS WARE SET	調剤用ガラス器具	構成: 液量計、試験管、標準滴瓶、硝子乳鉢、ヒート、ワグ、 比重計、分液ロート、スプリング、冷却器、硝子ロート、ヒート等	1
L-14	VISCOMETER	粘度計	レドウト型	1
L-15	INCUBATOR	インキュベーター	温度範囲: +5°C ~ 80°C 内容積: 97ℓ	1
L-16	AUTOClave	高压滅菌器	内寸法: 220φ x 350mm 材質: ステンレス製	1
L-17	COLONY COUNTER	コロニカウター	3桁ディスプレイ表示	2
L-18	HOT AIR STERILIZER	感熱滅菌装置	材質: ステンレス 温度: 室温+20°C ~ 120°C 容量: 60ℓ	1
L-19	SPECTROPHOTOMETER	分光光度計	波長範囲: 340 ~ 900nm 付属品: 角砂	2
L-20	FLAME PHOTOMETER	炎光光度計	測定範囲: Li, Na, K/2 ~ 200ppm Ca/10 ~ 200ppm ホン付属	2
L-21	TURBIDIMETER	濁度計	ガラス管 60ml x 2本	2
L-22	FREEZER	冷凍庫	容量: 60ℓ	2
L-23	DESK PH METER	実験室用PHメーター	測定法: ガラス電極法、測定pH: 0 ~ 14pH、測定電圧: -2000 ~ +2000mV	2
L-24	PIPETTE WASHER	ピペット洗浄器	構成: 吸引メーター、水浴槽、ガラス円筒、吸引ロート管	2
L-25	WATER BATH	ウォーターバス	槽内寸法: 300 x 455 x 160mm 温度範囲: 室温 ~ 75°C	1
L-26	HOT PLATE STIRRER	サーモマグネティックスター	攪拌容量: 5000ml モーター: 1.8W 150 ~ 1500rpm 表面温度: 450°C	2
L-27	MUFFLE FURNACE	マッフル炉	温度範囲: 250 ~ 1150°C 容量: 4.5ℓ 機能: 加熱防止、タイマー	1
L-28	ROTARY EVAPORATOR	ロータリーエバポレーター	回転: 0 ~ 200rpm 温度設定: 室温 ~ 100°C 容量: 9ℓ	1
L-29	TEST TUBE MIXER	試験管ミキサー	回転数: 2900/3450rpm	5
L-30	THIN-LAYER CHROMATOGRAPHIC APPARATUS	薄層カマトグラフ装置	構成: プラチナ板、薄層塗布用ガラス板、乾燥棚、貯蔵箱、展開箱、 噴霧器、スプレッティング、外厚さゲージ	2
L-34	MICRO KJELDAHL DISTILLING APPARATUS	マイクロカダール窒素蒸留装置	構成: 真空瓶、排気筒、冷却器、曲管、ロート、ワグ、他小物付属品	2
L-35	TABLE TOP CENTRIFUGE	卓上遠心器	15mmチューブ 8本掛け 回転数: 4000rpm 2000xg	5
L-36	HEATING MANTLE SET	生物学顕微鏡	倍率: 50x ~ 1500x カンタカスレーブ付き 双眼	5
L-37	BIOLOGICAL MICROSCOPE	機材キャビネット	材質: スチール 扉/鍵付き 寸法: W880 X D380 X H1790mm	1
L-38	INSTRUMENT CABINET			

NO. NAME OF EQUIPMENT 日本名 仕 様 数量

M. LIBRARY

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕 様	数量
M-01	TYPEWRITER	区書館 タイプライター	英語タイフ 2段式タイフ W:465W X 720Dmm H:720mm N/D H高:800mm 横載重:150Kg 寸法:W400 X D500 X H660mm(中段330H之455H) 材質:角パイプ・アルミ焼付 上段寸法:W400 X D200 解放型 材質:スチール 寸法:W900 X D270 X H2208mm 天板:W1800 X D450 X 700mm 棚付き 材質:クロムメッキパイプ ビニールシート貼 シート高:430mm 背高:750mm 材質:スチール 寸法:D140 X H180mm 最大線寸法:A5~B4 消費電力:1.2KW 製本ローラー付 含む 構成:ネットキス、パイプ・ガード、パイプリング、クロスタイフ、リフト、リフト、リフト、リフト	5
M-02	BOOK TROLLEY	書籍搬送車		2
M-03	STEP STOOL	踏台		5
M-04	BOOK SHELF	書架		20
M-05	READING DESK	書見台		25
M-06	READING CHAIR	書見椅子		50
M-07	BOOK STAND	本立て		100
M-08	BOOK BINDER	ブックバインダー		1
M-08	BOOK REPAIRING INSTRUMENT SET	書籍修理器具セット		1
N. COMPUTER ROOM		JYE エター室		
N-01	PERSONAL COMPUTER	パーソナルコンピュータ	プロセッサ:1486DX2, 50MHz メモリ:4KB ハードディスク:240MB CRTディスプレイ:14インチ VGA仕様	5
N-02	MONITOR	モニター		5
N-03	PRINTER	プリンター	24ピンドットマトリックス仕様 速度:91~828印字/秒 用紙:A3~B5 構成:タイフ・ローラー、ローラー、キックネット、原稿台、70ピッチ、OAV、リボン等 容量:1KVA 補償時間:10分間 入力許容:AC±10% 出力:AC±1% 容量:2KVA 入力範囲:AC160~250V 応答時間:0.5秒以内 容量:10KVA 遮断電圧:250V	5
N-04	SMALL ITEM FOR COMPUTER SYSTEM	JYE エター用小物品		1
N-05	UNINTERRUPTED POWER SUPPLY	無停電電源装置		5
N-06	AUTOMATIC VOLTAGE REGULATOR	自動電圧調整装置		5
N-07	AUTOMATIC VOLTAGE LIMITER	自動過電圧遮断装置		5
N-08	DISK CABINET	ディスク格納庫		1
N-09	COMPUTER DISK	JYE エターディスク		2
N-10	CABINET MANUAL BOOK	説明書保管庫		5
N-11	AIR COOLER	冷房機	3X6型 同開閉 スラスラ 棚板:4枚 寸法:W880 X D380 X H1790mm 天板:W1800 X D450 X 700mm 棚付き	2
N-12	CLEANER	掃除機	3X6型 上部スラスラ 棚板:4枚 寸法:W880 X D400 X H1790mm 冷房専用 除塵機能付き	5
N-13	COMPUTER SOFTWARE	JYE エターソフト		2
O. AUDIO VISUAL ROOM		視聴覚室		
O-01	VIDEO PROJECTOR	ビデオプロジェクター	スクリーンサイズ:100インチ 信号方式:PAL/SECAM/NTSC S-端子付き 寸法:120インチ 可動式	1
O-02	SCREEN FOR VIDEO PROJECTOR	スクリーン		1
O-03	VIDEO TAPE RECORDER	ビデオテープレコーダー	S-VHS方式 高品質 100インチビデオ用 S-VHS方式 信号方式:マルチシステム	1
O-04	VIDEO TAPE RECORDER FOR CONVERSION	変換用ビデオテープレコーダー	出力:100W 最大幅長:720mm 光源:350Wハロゲンランプ/キリウムケース付 シート/ビデオ兼用型 スチール寸法:A4 光源:300Wハロゲンランプ/ビデオ兼用型 2x25x10 光源:250Wハロゲン付属:80枚スライド・フィルム・ビデオテープ	1
O-05	MAIN SPEAKER SYSTEM	スピーカーシステム		1
O-06	FILM PROJECTOR	16mmフィルムプロジェクター		1
O-07	OVERHEAD PROJECTOR	オーバーヘッドプロジェクター		1
O-08	SLIDE PROJECTOR	スライドプロジェクター		1
O-09	VISUAL PRESENTER	ビデオプロジェクター		1

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕 様	数量
0-10	SMALL ITEM FOR OHP & SLIDE PROJECTOR	OHP/スライド作成用小物器具類	構成: A、Y、カウ、74WA、裨紙等	1
0-11	MATERIAL CABINET	資材保管庫	3X6型上部が 74戸 棚板: 4枚 寸法: W880 X D400 X H1790mm	2
0-12	PORTABLE TAPE RECORDER FOR FIELD WORK	貸出用携帯型録音器	ステレオ内蔵型 電源AC/DC両用 録音再生、7インチ型	10
0-13	PORTABLE O. H. P. FOR LEND	貸出用携帯型O. H. P.	シート/ロー素用型 サイズ寸法: A4 光源: 300W/40ワ ソレノイド付	5
0-14	PORTABLE FILM PROJECTOR FOR LEND	貸出用携帯型16mm74WA7.0V 幻灯	最大74mm長: 720m 光源: 250W/40ワ ソレノイド付	2
0-15	PORTABLE SLIDE PROJECTOR FOR LEND	貸出用携帯型スライド7.0V 幻灯	2X2スライド 光源: 250W/40ワ 付属: 80枚スライド・トルネメント・ケース	5
0-16	PORTABLE VIDEO PROJECTION SYSTEM FOR LEND	貸出用携帯型ビデオ7.0V 幻灯	構成: 簡易ビデオ7.0V 幻灯・VHSビデオ7.0V レコーダー	5
0-17	PORTABLE PROJECTION SCREEN	貸出用携帯型スクリーン	寸法: 180 x 180cm	20
0-18	PORTABLE TAPE RECORDER FOR LEND	貸出用携帯型テープレコーダー	ステレオ内蔵型 電源AC/DC両用	2
0-19	PORTABLE PUBLIC ADDRESS SYSTEM FOR LEND	貸出用携帯用PAシステム	出力: 20W 74WA/74ワ付き AC/DC両用型	2
0-20	PORTABLE VIDEO PLAYER SYSTEM FOR LEND	貸出用携帯用ビデオシステム	構成: VHSビデオデッキ、TV(モニター)セット、キャリカ、ケース	2
0-21	VIDEO DECK MAINTENANCE ITEM	ビデオ機器メンテナンス用小物	構成: 乾湿ヘッド・クリーナ、消磁器、テストテープ(7インチ)等	1
0-22	PORTABLE GENERATOR FOR LEND	貸出用携帯用発電機	出力: 1.4KVA 回転数: 3000rpm 燃料: 14ℓ(ガソリン)	5
0-23	EQUIPMENT STRAGE CABINET			
F. COPY/PRINTING CENTER				
P-01	PHOTOCOPY MACHINE LARGE	複写/印刷機(大型)	サイズ: A3~B5 トレット: A3~B5各1個 最大トレット枚数: 0~999枚	2
P-02	PHOTOCOPY MACHINE SMALL	複写/印刷機(小型)	卓上型トレット: A3~B5 最大トレット枚数: 0~99枚 トレット: A3~B5	2
P-03	ACCESSORY FOR COPY MACHINE	複写機用アクセサリー	トレット機用アクセサリー、トレット74A、トレットA、H、等	1
P-04	PRINTING MACHINE	騰写輪転機	用紙サイズ: B4~葉書 手動式 用紙積載量: 約600枚	4
P-05	THERMAL FAX	電子製版機	放電式 トレット回転: 1000/分 製版速度: 71mm/分	2
P-06	ACCESSORIES FOR PRINTING MACHINE	輪転機起用付属品類	集塵フィルター、脱臭ユニット、色替トレット、スクリーン、原紙収納箱、原紙、光源777、原紙等	1
P-07	PRINTING TABLE	印刷作業台	天板: W1800 X D450 X 700mm 棚付き	5
P-08	MATERIAL CABINET	資材保管庫	3X6型上部が 74戸 棚板: 4枚 寸法: W880 X D400 X H1790mm	2
P-09	PUNCHING MACHINE	孔明け機	穿孔能力: 約160枚(PPC) 穴径: 6φmm 付属: 替り刃受74A-	2
P-10	PAPER CUTTER	A、H、-カッター	最大切断幅: 390mm 切断枚数: 約30枚(PPC)	2
Q. MAINTENANCE CENTER				
A. SECTION OF IRON WORKS				
Q-A01	ARC WELDING MACHINE	アーク溶接器	出力電流: 200~60A 溶接棒径: 4~2.0mm	1
Q-A02	SPOT WELDING MACHINE	スポット溶接器	二次回路電流: 4000A 定格容量: 8KVA 入力: 28KVA	1
Q-A03	DRILLING MACHINE	ボーリング盤	穴明け能力: φ19mm 作業高: 125mm 回転速度: 250~1550rpm	1
Q-A04	BENCH GRINDER	ベンチグラインダー	卓上型 500W 砥石含む	1
Q-A05	PORTABLE ELECTRIC DRILL	ポータブルドリル	金属・木工加工用 モーター: 0~550rpm 500W 13mmドリル	2
Q-A06	PORTABLE CUTTER	切断機	砥石外径: 355mm 回転数: 3800rpm 消費電力: 1450W 砥石含む	2
Q-A07	DISC GRINDER SMALL	ディスクグラインダー(小)	回転数: 12000rpm 消費電力: 570W 砥石含む	2
Q-A08	DISC GRINDER LARGE	ディスクグラインダー(大)	回転数: 10,000rpm 消費電力: 1,020W 砥石含む	2

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕 様	数量
Q-A08	PIPE THREADING TOOL SET	パイ切り器	切削寸法: 1/2" ~ 1 1/2" 替刃付き	2
Q-A10	PIPE BAIS(1/8"~2") WITH STAND	パイ台	脚付き 一般鋸管用	2
Q-A11	PIPE CUTTER	パイカッター	切断能力: 1/2" ~ 2" 替刃付き	2
Q-A12	GAS WELDING/CUTTING SET	ガス溶接/切断器	構成: 中型溶接/切断器 火口 酸素/7E調整器 小型溶接器	2
Q-A13	CORD REAL	コードリール	長さ: 30m 許容電流: 22A	2
Q-A14	INSTRUMENT SHELF	機器棚	材質: スチール 背網付 棚板8枚 寸法: W1200 X D600 X H2100	2
Q-A15	TOOL CABINET	工具キャビネット	材質: スチール 扉/鍵付き 寸法: W880 X D380 X H1790mm	2
Q-A16	IRON WORK TOOLS	鉄工工具	構成: 欧米型ソケットレンチ、スパナ、ドライバー、ドリル、カギ等75点	2
B. SECTION OF WOODEN WORKS				
Q-B01	PLAINER-JOINTER	木工作業 自動カンナ	最大切削幅: 自動318mm 手動155mm 切削材厚: 3~260 消費電力: 1460W 回転数: 7,000rpm 替刃含む	1
Q-B02	TABLE SAW	丸鋸盤	鋸刃: 255φmm 最大切込深さ: 90°時91mm 45°時63mm 替刃含む	1
Q-B03	POWER PLANER	電気カンナ	最大切削幅: 136mm 最大切削深さ: 3mm 回転数: 16,000/12,000 消費電力: 1,140W 替刃含む	1
Q-B04	MORTISER	角盤	穴明能力: 30x30~6x6mm 最大切込深: 162mm 最大加工幅: 183mm 回転数: 1,400rpm 消費電力: 1,150W 各種角盤含む	1
Q-B05	ROUTER	ルーター	チャック孔径: 12mm 回転数: 23,000rpm 各種ビット含む	1
Q-B06	ZIG SAW	ジグソー	切断能力: 木材50mm 軟鋼板6mm 傾斜切断: 左右45° 各種鋸刃含む	1
Q-B07	CIRCULAR SAW	丸鋸	鋸刃外径: 185mm 最大切込深: 90°時91mm 45°時63mm 替刃含む	1
Q-B08	FINISHING SANDER	仕上げサグダ	ヘッド寸法: 93x185mm V-バ-寸法: 93x228mm 回転数: 7,000rpm 消費電力: 130W 替刃-バ-含む	1
Q-B09	CORD REAL	コードリール	長さ: 30m 許容電流: 22A	2
Q-B10	INSTRUMENT SHELF	機器棚	材質: スチール 背網付 棚板8枚 寸法: W1200 X D600 X H2100	2
Q-B11	TOOL CABINET	工具キャビネット	材質: スチール 扉/鍵付き 寸法: W880 X D380 X H1790mm	2
Q-B12	GROOVE CUTTER	溝切り	切削幅: 三面仕上カッタ3~36ミリ 普通カッタ2.4~36ミリ 胴アチャック39ミリ 回転数: 8,500rpm 消費電力: 1,430rpm 替刃含む	1
Q-B13	ANGLE CLAMP SET	アングルクランプセット	材質: 7呎 口巾: 85x85mm 口開き: 72mm 口深さ: 12mm 4本組	2
Q-B14	HAND CLAMP SET	ハンドクランプセット	最大開き: 200mm 7ト口: 100mm 4本組	2
Q-B15	PLANNER SET	鉋セット	西欧型各種 現地調達	1
Q-B16	SAW SET	鋸セット	西欧型各種 現地調達	1
Q-B17	GRAVER SET	鑿セット	西欧型各種 現地調達	1
Q-B18	WOODEN WORK TOOL ST	木工作業工具セット	構成: 欧米型ソケットレンチ、スパナ、ドライバー、ドリル、カギ等75点	2
C. ELECTRIC SECTION				
Q-C01	MULTI TESTER	電気回路工作 回路サグダ	測定電圧: DC0.12~1200V、8V/V AC6~1200V、5V/V 測定電流: DC30μA~6A、5V/V AC12A/11V/V Ω: 3K~30M 2機種: 高電流測定15~1500A/低電流測定6~300A	5
Q-C02	CLUMP METER SET	クランプ電流計セット		2

NO.	NAME OF EQUIPMENT	日本名	仕様	数量
Q-C03	PHASE DETECTOR	検相器	使用電圧: 110V~480V 周波数: 40Hz~70Hz	2
Q-C04	MEG-OHM TESTER	絶縁抵抗計	測定電圧: 250/500V 測定抵抗: 50/100MΩ	1
Q-B05	CORD REAL	コードリール	長さ: 30m 許容電流: 22A	2
Q-B06	INSTRUMENT SHELF	機器棚	材質: スチール 背網付 棚板8枚 寸法: W1200 X D600 X H2100	2
Q-B07	TOOL CABINET	工具キビネット	材質: スチール 扉/鍵付き 寸法: W880 X D380 X H1790mm	2
Q-B08	ELECTRIC WORK TOOL SET	電気回路工具セット	構成: ニッパ、ペンチ、ドリル、ヤジロ、ペンチ等46点組	2
Q-B09	GENERAL WORK TOOL SET	一般工具セット	構成: 欧米型ソックスライナー、ハブ、ドライバー、ヤジロ、クギ等75点	2
R CLINIC				
[RECEPTION]				
R-Q01	PATIENT RECORD RACK	患者記録車	材質: スチール 寸法: W930 X D330 X H1800 棚板6枚付き	4
R-Q02	PATIENT WAITING CHAIR	患者待合椅子	バック型背無・塩ビ成形品 脚: 楕円パイプ 寸法: W1502XD420XH400 必要数量: 50人 ÷ 3人 = 16.6 他横臥患者及びびびり	20
[PHARMACY]				
R-Q03	MEDICINE CABINET	薬局	材質: スチール 寸法: W930 X D330 X H1800 棚板6枚付き	2
R-Q04	MEDICINE RACK	錠剤キビネット	バック型背無・塩ビ成形品 脚: 楕円パイプ 寸法: W1502XD420XH400	2
[X-RAY ROOM]				
R-Q05	DIAGNOSTIC X-RAY APPARATUS	X線室	材質: スチール 寸法: W930 X D450 X H2100 棚板: 6枚付き	2
R-Q06	BUCKY TABLE	診断用X線装置	寸法: W1152 X D500 X H1790mm 上部: 45仕切 下部: 引出戸棚8	1
R-Q07	LEADER	リーダー	材質: スチール 寸法: W930 X D450 X H2100 棚板: 6枚付き	2
R-Q08	CASSETTE SET	カセットセット	括弧型 最高管電圧: 100 KV 最高管電流: mV コリメーター付き	1
R-Q09	DARK ROOM EQUIPMENT SET	暗室用器材	バック: 往復板バネ振動 7kg以下 半切付・3kg以下	2
S. KAREN COLLEGE (FACULTY OF NUTRITION)				
S-01	AUTO SCALE SMALL	加算校(栄養学)	分銅付き普通型別ダ	10
S-02	AUTO SCALE MEDIUM	自動秤 小型	大皿切、大角、半切等の各種	10
S-03	FOOD SAMPLE	自動秤 中型	構成: 手焼現像器具・焼付器具・引延器等	1
T. MATHARE SCHOOL OF NURSING (PSYCHIATRIC NURSING COURSE)				
T-01	TEACHING AID BOOKS	教材書籍	普及型 秤量2Kg 最小目盛: 5g 普及型 秤量12Kg 最小目盛: 50g 栄養指導用 含有量表示・重量・熱量・蛋白・脂質・糖・塩分・水分	各10
U. VEHICLE				
U-01	BUS	車両	書籍: 20種 精神医学、精神看護学、看護学等	各10
U-02	4WD CAR	バス	本計画に係る施設対象: 必要性に応じた計画	
U-03	MOTOR BIKE	4輪自動車	メーカーは日本製または欧州製	
U-04	BICYCLE	オートバイ	日本製又は欧州製	
		自転車	ネダ、カナダ付 実用自転車型	

7-2 提言

7-2-1 本計画実施上の留意事項

7-2-1-1 管理運営

- 1) KMITCは現在KMITCマスタープランを策定中であり、基本設計調査時にこのマスタープランを評価し「ケ」側に適切なアドバイスを与える事は、本計画に有効性、持続性をより高めるものであり、本計画の目的を達成させる必要事項でもあるところから、出来得る限りの範囲内でこの評価に努める必要がある。
- 2) ナイロビ校の施設使用は、現在各学部が専有する形を取っているが、全体的施設容量が小さいところから、事前調査時に出来る限り共有方式にする事を「ケ」側に進言、「ケ」側もこの状況を充分理解し、早速マスタープランに含める事を表明しており、基本設計調査時に状況の確認と施設・機材計画に反映させる必要がある。
- 3) 「ケ」側は、管理運営に関する体制強化のため、日本の技術協力を強く求めており、事前調査においてもその必要性及び重要性を認めるところから、出来る限り早い時点で短期あるいは長期専門家の派遣が計画できるようにする事が望ましい。

7-2-1-2 施設設備

施設設備の計画にあたっては、現状復帰または機能復帰を基本方針とし、設計においては完全な現状の把握のもと、最小必要条件にて計画立案をする事が望ましい。

- 1) 計画にあたっては、「ケ」側の授業時間・休日等を確認し、双方の協議により建設時の混乱の無いような行程計画を立案する。
- 2) 現地で入手可能な資材の有効利用(現地調達)を考慮し、輸入品を極力少なくする計画を行う事。
- 3) 増設の建物は、階高を高めに取り、空気の流れを効率よく計画し、機材による空調を少なくする。
- 4) 床材は水洗いできる材質を選定の事。
- 5) 増設施設内にほこりを持ち込まないような方式の設計及び既存施設の改修でも同様の設計を行う事。
- 6) 宿泊施設の改修は、清潔を保持させる事が大きなポイントである事を認識し、廃棄物の処理、清掃の徹底が容易に指導できるような計画とする事。
- 7) 本プロジェクト外の改修対象となっている施設に一部ではあるがクラックが見られるため、B/D時に構造の専門家による充分な調査が必要となる。
- 8) ケニア全土を中心とした地震の分布をB/D出発前に日本で調査し、現地での構造対策の資料とする。
- 9) 地耐力については、地中の状況を知るためにも、3ヶ所程のボーリング試験を行う必要がある。

7-2-1-3 機材

- 1) 機材計画にあたっては、原則的に基本的理論及び基本的実習(学内実習)を教育することを計画方針とし、自動機材、高度機材を含まないようにする事。(ただし、本計画の上位計画を助成する部分については、妥当性を確認しつつ計画を進める事。)
- 2) KMTC法による組織変更あるいはKMTCマスタープランによって統廃合の可能性のある部門については、右マスタープラン等を確認の上計画を行う事。また、未確認あるいは統廃合または増設のある場合は計画の必要性及び妥当性を調査の上計画を行う事。
- 3) 地方施設への機材計画については、事前調査時に地方での維持管理機能(あるいはKMTC本部管理機能)が完全に確認されていないところから、特に維持管理費用を多く必要としない看護教育用機材のみを必要各施設に計画し、他の機材(車両、臨床検査学教育機材、環境衛生学教育機材等)については、右維持管理機能の確認なしでは本計画に含めないものとする。
- 4) KMTCに現在装備されていない機材の計画を行う場合は、現在のスタッフに操作経験を有する人材がいる事を確認し、経験者不在の場合は計画には含めない事。ただし、隣接する実習病院に既存機材が稼働しており、かつ右機材の操作者がKMTCにおいて指導を行う確証が得られればその限りではない。
- 5) 消耗品を多用する機材については、消耗品購入予算の確保を確認した上で機材計画を行う事。右確認が出来ない場合は今回の計画には含めない事。
- 6) 既存機材の稼働状況を詳細に調査し、たとえ機齢が高くても、今後数年間の稼働が十分予想される場合は、新規材導入は行わない事。
- 7) 学内実習で、直接学生が取扱いを行う機材について、必要と判断される操作/使用説明書は、生徒数を考慮した数量(例えば50~100冊)を計画に含める事。これは、現在教科書や図書部数が少ない各学部、各学校に必要な条件と判断するため。
- 8) 看護教育機材の計画策定における各地方校の責任者との協議は、事前に質問書あるいは提示資料を先方に送付しておき、現地調査の早い時点で全責任者を呼びに来てもらい、1か所で協議が出来るよう前もって手配をしておく必要がある。

7-2-2 基本設計調査時のTOR

- 1) 本件上位計画の進行状況の確認及びこれに伴う本計画の妥当性の再確認を必要とする。
- 2) KMTCマスタープランの策定状況及び本計画との整合性を確認する必要がある。
- 3) KMTC法の施行状況及び下記各項目の確認を必要とする。
 - a. 評議会を含むKMTCの組織
 - b. 新組織年度の財務状況(収支計画)
 - c. 維持管理体制の再確認
- 4) 本計画における協力範囲をこえる部分については、次期協力を想定した調査も基本設計調査の範囲とし、事前調査にて不足した情報・資料の収集を行う事とする。
- 5) 看護教育機材は、多くの地域・学生に使用されることから、機材の説明文及び説明書が英文で記される事を必須とする必要がある。また、他の機材についても同様の措置を取らなければならない。
- 6) 看護教育用機材は、各地方施設においてもかなりの機種が装備されており、事前調査においては詳細調査はなし得なかったため、基本設計において日本側から資料を提示し、「ケ」側に取捨選択をさせて機材を決定する必要がある。

7)車両の調達については、モコックボディ式のは避け、ラロードでの使用可能な車両とする事に留意の要がある。また、第三国調達を可能とする場合は、ソースを日本あるいは欧州に限定し、特にインド製などを採用しない事。
ただし、シャーシを欧米又は日本製とし、ボディを現地生産で対応する事は差し支えない。

8)「ケ」国における電圧変動は甚だしいものがあり、定格240V/ACが280Vにもなるため、機材計画においては自動電圧調整装置(AVR)を含めると同時に、電子回路を使用するものについては電圧制限装置(リミッター)も計画に含める事。

9)機材の「ケ」国内調達及び第三国調達による機材コストの軽減、維持管理の容易化等のため、「ケ」国内及び第三国(特に英国)における市場調査を実施し、本計画の有効性を高める事。

7-2-3 基本設計調査の時期・期間

KMTCは現在新組織移行の過渡期にあり、94年7月1日からの新会計年度開始にともなって活動を開始する状況から、基本設計は右KMTC ACT開始後2ヵ月程度後に調査を開始する方が、新KMTCの実状及び将来計画の確認をより確実に行えるものと判断される。すなわち、基本設計の現地調査は94年8月後半以降が望ましい。

なお、基本設計は、KMTC ACT 実施を確認してから開始する事を必要条件とする。

7-2-4 基本設計調査の団員構成

基本設計調査時の調査団の団員構成は下記の通りとする。

- (1)B/D調査
1. 総括
 2. 医療教育
 3. 計画管理
 4. 業務主任／施設計画 1
 5. 施設計画 2 / 積算
 6. 設備計画
 7. 機材／運営維持管理計画

添付資料

写 真

- | | |
|---------|-----------------------|
| 添付資料－1 | 事前調査団 団員リスト |
| 添付資料－2 | 調査日程 |
| 添付資料－3 | 面談者リスト |
| 添付資料－4 | 協議議事録(英文) |
| 添付資料－5 | 一般事情 |
| 添付資料－6 | 収集資料リスト |
| 添付資料－7 | 日本における標準看護教育機材リスト |
| 添付資料－8 | ハイビ校生徒数・教室面積対照表 |
| 添付資料－9 | 各カテゴリー毎の各施設 |
| 添付資料－10 | 「ケ」国保健省管轄の医療従事者関連訓練機関 |
| 添付資料－11 | 医療従事者養成実績 |
| 添付資料－12 | KMTC各施設の生徒数 |
| 添付資料－13 | KMTCの収支表 |
| 添付資料－14 | 「ケ」国に対する過去の日本からの援助実績 |
| 添付資料－15 | KMTC入学試験制度 |

写真集

写真説明－1

<KMTCC ナイロビ校>

写真－1 学内景観

写真－2 看護学部

写真－3 看護学部

写真－4 看護学部

写真－5 看護学部 教室 雨漏り

写真－6 看護学部 ホール 雨漏り

写真－7 教室棟

写真－8 教室棟

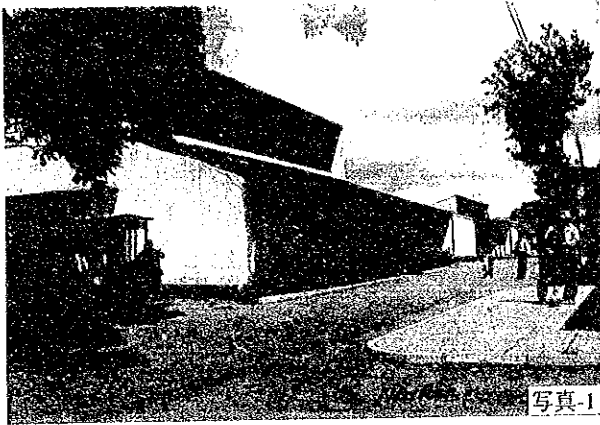


写真-1

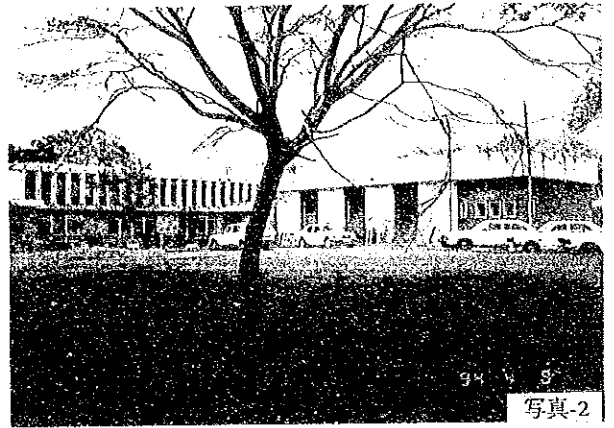


写真-2

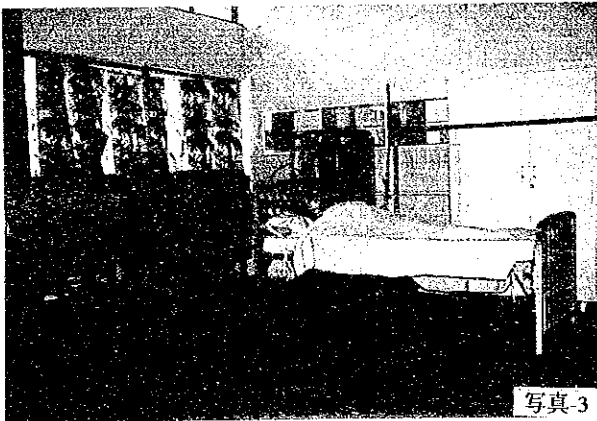


写真-3

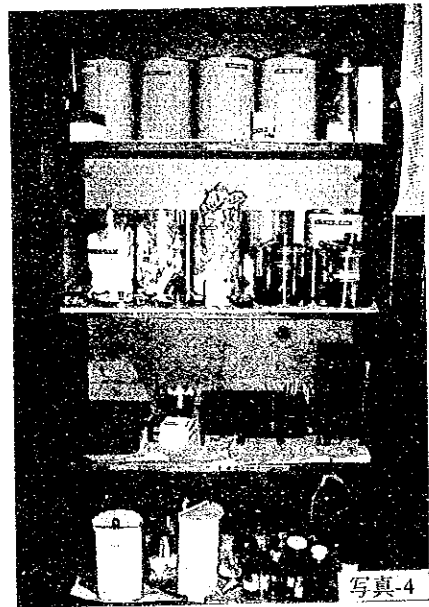


写真-4

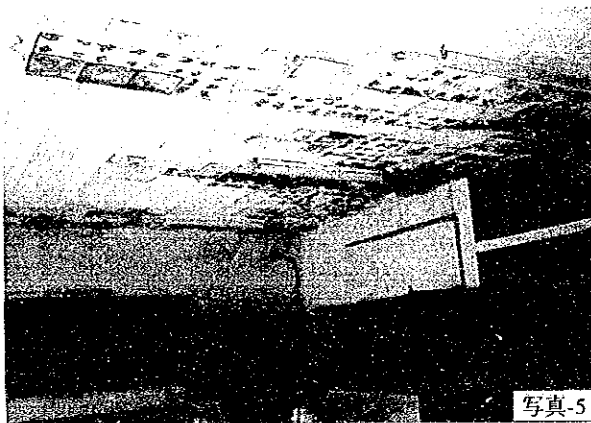


写真-5

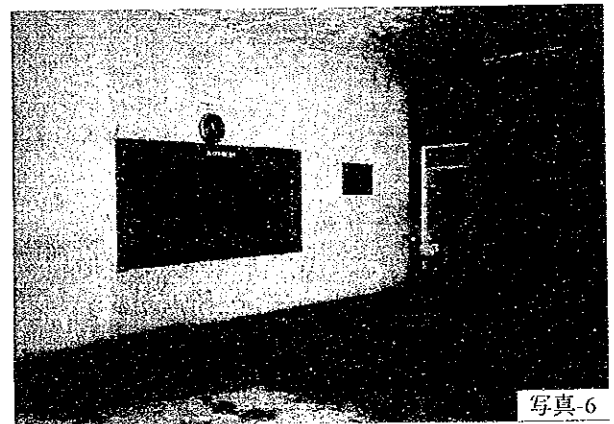


写真-6



写真-7

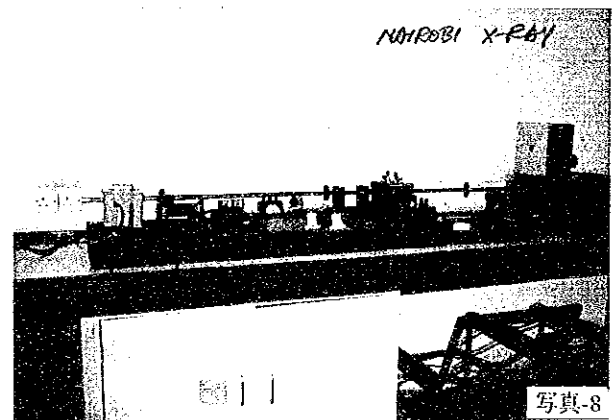


写真-8

写真説明－2

<KMT C ナイロビ校>

写真－9 教室棟

写真－10 教室棟

写真－11 整形外科技士学棟

写真－12 整形外科技士棟 内部廊下

写真－13 歯科技工学棟

写真－14 歯科技工学棟 内部

写真－15 臨床医学棟全景

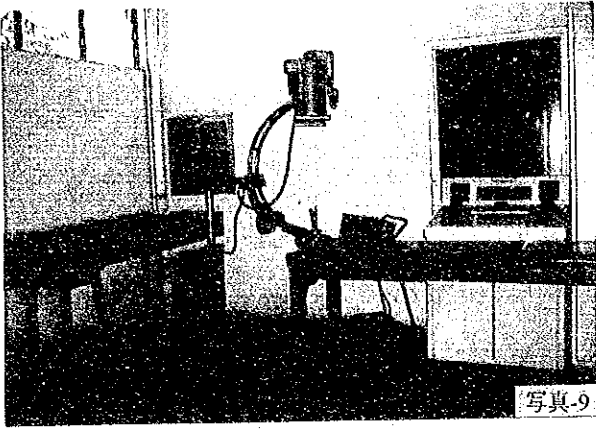


写真-9



写真-10



写真-11



写真-12

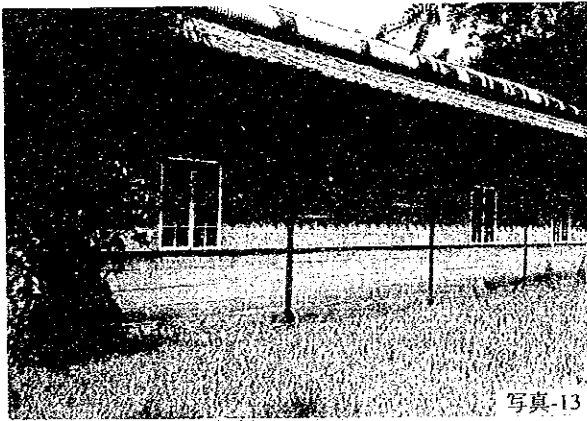


写真-13



写真-15

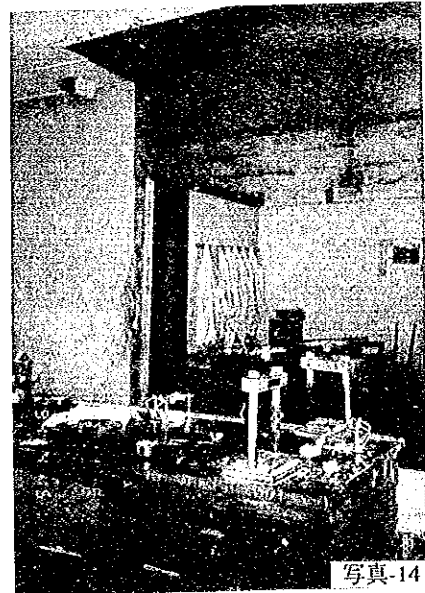


写真-14

写真説明－3

<KMTC ナイロビ校>

写真－16 臨床医学棟 内部診療室

写真－17 作業療法士学棟 外壁クラック

写真－18 物理療法士学棟 内部床

写真－19 ドミトリー外観

写真－20 ドミトリー給水タンク水漏れ

写真－21 男子ドミトリー 電気配管

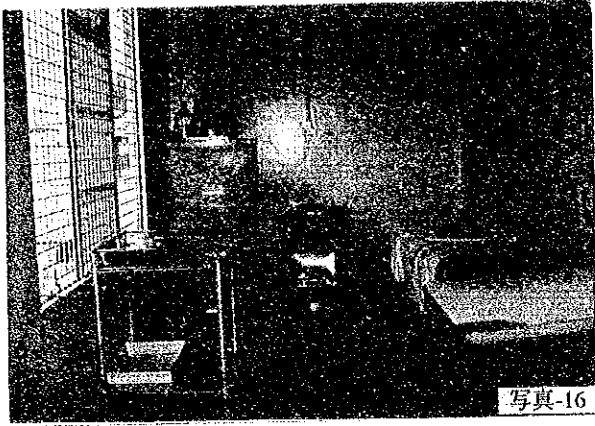


写真-16

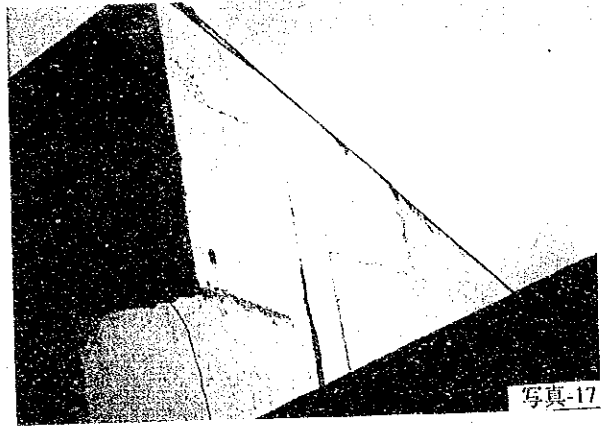


写真-17

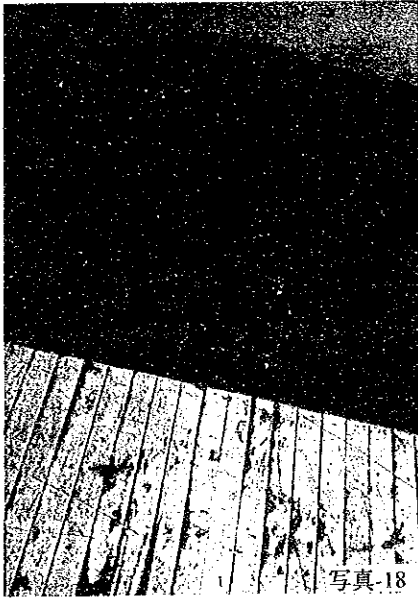


写真-18



写真-19

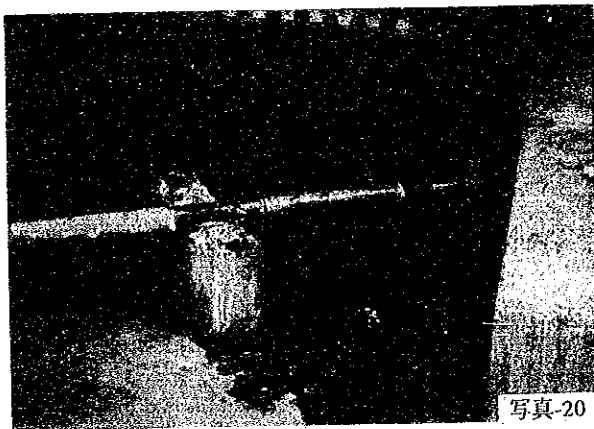


写真-20



写真-21

写真説明一 4

<KMTC ナイロビ校>

写真-22 男子ドミトリー シャワー器具無し

写真-23 女子ドミトリー ホール床壊れ

写真-24 女子ドミトリー 洗面器壊れ



写真-22

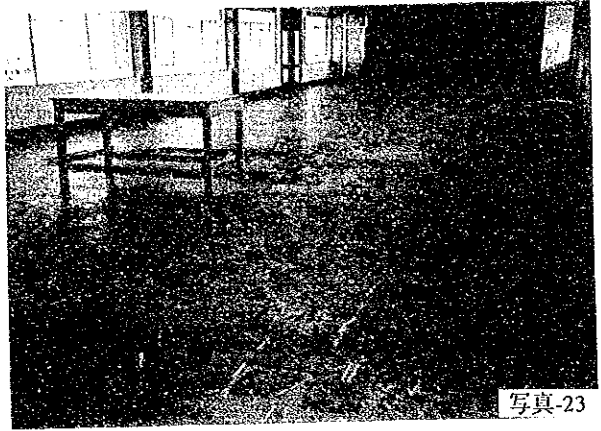


写真-23

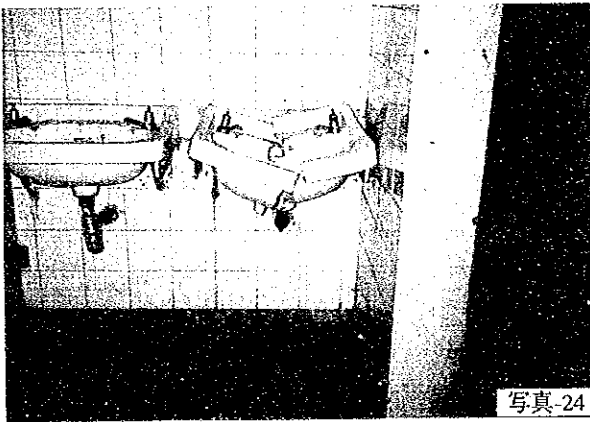


写真-24

写真説明－5

<KMT C ナクル校>

写真－25 看護棟外観

写真－26 汚水排水漏れ

写真－27 看護教育デモルーム
格納されている教室用器具類

写真－28 故障中のボイラー

写真－29 梁のクラック漏水

写真－30 ナクル病院
メンテナンスルーム

写真－31 男子ドミトリー 外観

写真－32 1階ホール屋根

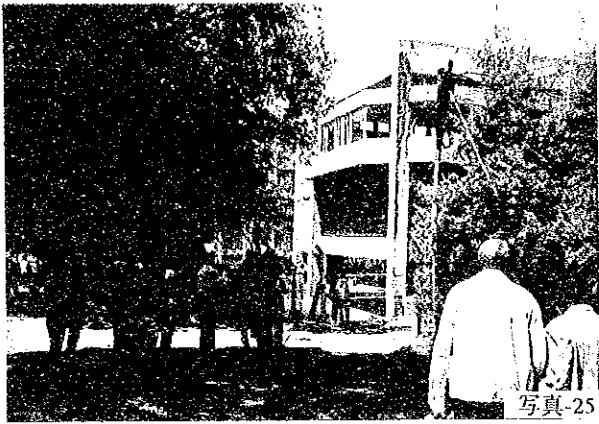


写真-25

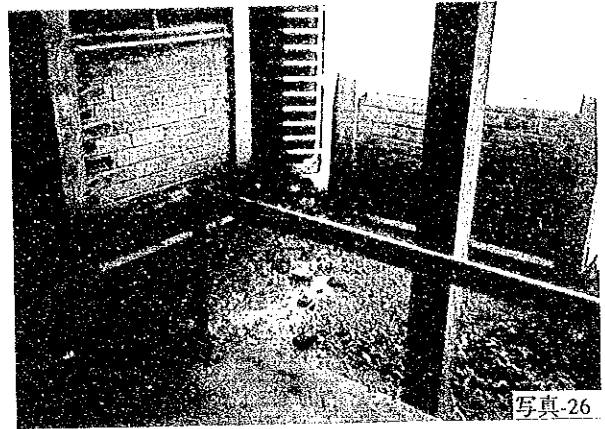


写真-26

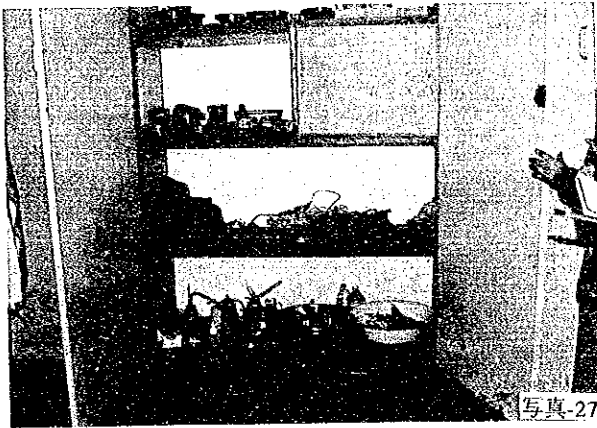


写真-27

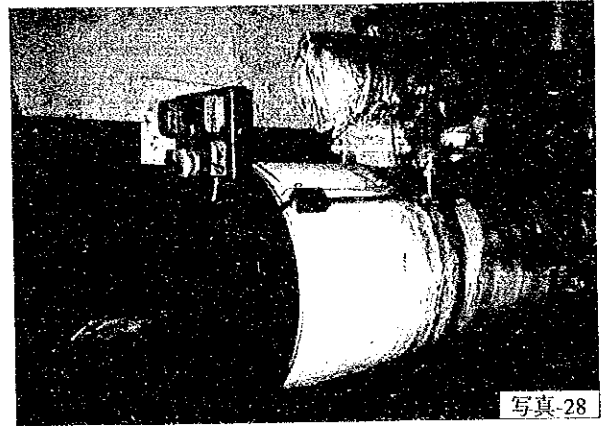


写真-28

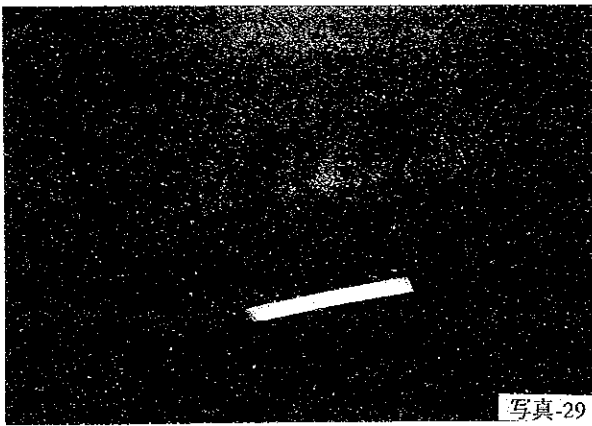


写真-29

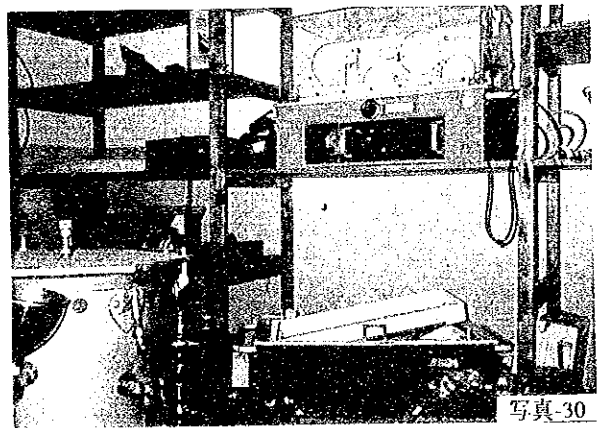


写真-30

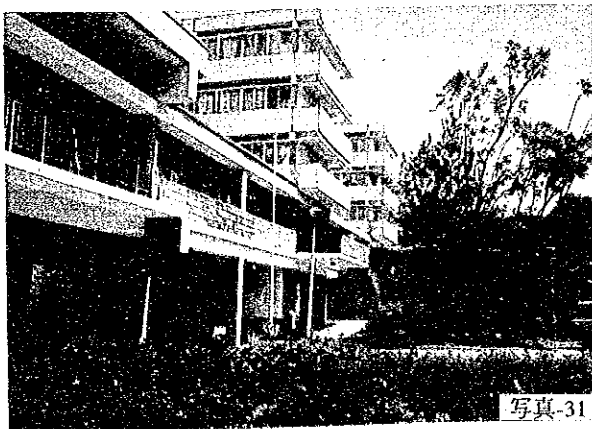


写真-31

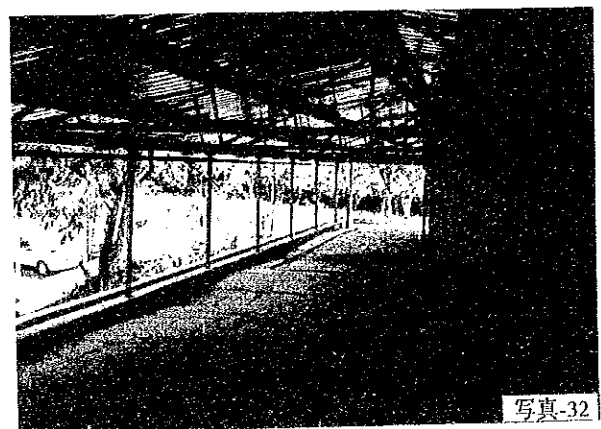


写真-32

添付資料-1

事前調査団 団員リスト

- | | | |
|-----------|-------------------------|-------|
| 1. 総括 | JICA無償資金協力調査部基本設計調査第一課長 | 末森 満 |
| 2. 看護教育 | 聖マリア学院短期大学看護学科講師 | 朝倉 正子 |
| 3. 医療技術教育 | 財団法人九州産業衛生協会 放射線技師 | 山田 行雄 |
| 4. 計画管理 | JICA無償資金協力調査部基本設計調査第一課 | 藤原 純子 |
| 5. 建築計画 | 日本国際協力システム | 鈴木 忠博 |
| 6. 機材計画 | 日本国際協力システム | 乳井 勇 |

添付資料-2

調 査 日 程

- 4月 6日(水) : 成田発(A F - 275)
パリ着
パリ発(A F - 456)
- 4月 7日(木) : ナイロビ着
JICA事務所表敬訪問
保健省表敬訪問
- 4月 8日(金) : ナイロビK M T C調査
アムレフとの打合せ
- 4月 9日(土) : ナイロビ発 ナクル着
ナクル M T C調査 ナクル州病院調査
ナクルヘルス・センター調査
- 4月10日(日) : ナクル発 エルドレッド着
団内会議
- 4月11日(月) : エルドレッド 病院維持訓練学校調査
エルドレッド M T C調査
エルドレッド 県病院調査
エルドレッド発 カカメガ着
- 4月12日(火) : カカメガ発 キスム着
カカメガ M T C調査
カカメガ 州病院調査
ホマベイ M T C調査
ホマベイ 県病院調査
キシイ M T C調査
キシイ 県病院調査
キスム M T C調査
キスム 県病院調査
- 4月13日(水) : キスム発 ナイロビ着
ニャンザ(キスム州病院)調査
- 4月14日(木) : カレン M T C調査
マタレ M T C調査
K E M R I 調査
P E E P 調査
大使館表敬訪問
保健省次官表敬訪問
- 4月15日(金) : K M T C 調査
カルリ M T C調査
ケニヤッタ病院調査
- 4月16日(土) : 団内打合せ・資料整理
- 4月17日(日) : 団内打合せ・資料整理
- 4月18日(月) : ナイロビ病院調査
看護協会打合せ
K M T C調査
大蔵省表敬訪問
U S A I D打合せ
D A N I D A打合せ
- 4月19日(火) : 先方実施機関との協議
- 4月20日(水) : 保健省と議事録署名
建築担当 ナイロビ発 キスム着

4月21日(木) : 専門家グループ：ナイロビ発(SR-116)
 建築担当 初 ナイロビ着
 4月22日(金) : マチャコスMTC/マチャコス病院調査
 4月23日(土) : 団内打合せ・資料整理
 団長：ナイロビ発()
 4月24日(日) : ナイロビ発 モンパサ着
 4月25日(月) : モンパサMTC/病院調査
 キリフィMTC/病院調査
 ポートレイツMTC/病院調査
 4月26日(火) : モンパサ・ポリテク調査
 マツガMTC調査
 4月27日(水) : モンパサ発 ナイロビ着
 4月28日(木) : ナイロビ発 ニエリ着
 エンプMTC/病院調査
 メルーMTC/病院調査
 4月29日(金) : ニエリ発 ナイロビ着
 ニエリMTC/病院調査
 ムラガMTC/病院調査
 ティカMTC/病院調査
 4月30日(土) : ナイロビ発 ロイトキトク着
 ロイトキトクMTC/病院調査
 5月 1日(日) : ロイトキトク発 ナイロビ着
 5月 2日(月) : 資料整理・団内打合せ
 5月 3日(火) : KMTCサイト調査
 5月 4日(水) : KMTCサイト調査
 5月 5日(木) : KMTCサイト調査
 5月 6日(金) : 保健省/日本大使館/JICA事務所報告
 5月 7日(土) : 資料収集/整理
 ナイロビ発(AF-485)
 5月 8日(日) : パリ着
 5月 9日(月) : パリ発(AF-276)
 5月10日(火) : 成田着

在ケニア大使館

堀江 正彦氏	公使参事官
阪井 清志氏	一等書記官
鈴木 郁子氏	専門調査員

JICAケニア事務所

長 島 俊一氏	所長
青 木 澄夫氏	次長
牧 野 耕司氏	所員

保健省(MINISTRY OF HEALTH:M. O. H.)

Dr. M. Kayo	Programme Manager, AIDs & STDs
Mr. Solomon Wanguru	Secretary, Ministerial Reorganization Secretariat
Mr. Isaac Okulla Omeri	Deputy Manager, Primary Health Care Programme
Mr. B. N. N. Kirruti	Doner Agencies Co-ordinator
	Permanent Secretary of MOH
Ms. Tabitha M Odouri	Chief Nursing Officer
Mr. Durhan Rameson Ongala	Director, External Resources Dept.
Mr. Jinyanumba	Assistant Desk Officer, External Resources Dept.

ケニア医療訓練学校(KENYA MEDICAL TRAINING COLLEGE:KMTCC)

ナイロビ医療訓練校	
Mr. W. K. A. Boit	Principal
Mr. Michael Wagatharia	Registrar
Mr. James Philip Kilui	Senior Executive Officer
Mr. Ephantus I. Ghege	Head, Faculty of Environmental Health

ナクル医療訓練校(MEDICAL TRAINING CENTER NALURU)

Mr. E. Keya	Hospital Secretary
Mr. W. Wakokha	Matron's Office
Mr. L. Lung'aho	Public Health Officer
Mr. J. Tororei	Head F. E. H. S., Public Health Officer
Mr. P. Kimbo	Medical Laboratory Technologist
Mrs. H. Khamati	Principal Nurse Tutor
Mr. C. Mose	Registered Clinical Officer
Mr. S. Gichohi	Hospital Secretary
Mr. L. Osee	Executive Officer
Mr. F. Waguchu	District Clinical Officer
Mr. David K. Mbugua	Clinical Officer, Bahati Health Center

エルドレット医療訓練校(MEDICAL TRAINING CENTER ELDORET)

Mr. S. W. Kangethe	Tutor Community Health Section
Mr. B. O. Opande	Deputy Principal Tutor
Mr. E. A. O. Mulusa	Executive Officer
Ms. N. J. Koil	Tutor, Midwifery Section

エルドレット病院維持訓練校(ELDORETO HOSPITAL MAINTENANCE TRAINING SCHOOL:HMTS)

Mr. S. M. Mbasu	Principal Tutor
-----------------	-----------------

エルドレット州病院(ERUDOLETO PROVINCIAL HOSPITAL)

Mrs. Gichuchi	Nursing Officer
Mrs. J. Omolo	Nursing Officer
Dr. J. C. Kibosia	Medical Superintendent/Surgeon
Dr. Wakuloba	Dental Officer

カカカ 医療訓練校 (MEDICAL TRAINING CENTER KAKAMEGA)

Ms. Liliyas Nyore Nurse Tutor
Mr. J. M. Wanyonyi Executive Officer
Mr. G. M. Shikuku Principal Tutor

キヌム 医療訓練校 (MEDICAL TRAINING CENTER KISUMU)

Mr. Monica V. A. Onyango Deputy Principal/Senior Nursing Officer
Ms. Janet I. Kamar Senior Nursing Officer, Community Nursing Dept.
Ms. Jane B. Odhiambo Assitant Chief Nursing Officer/Principal

ホマバヤ 医療訓練校 (MEDICAL TRAINING CENTER HOMABAY)

Mr. P. O. Ayuaya Executive Officer
Ms. K. M. Oluoch Tutor/Nursing Officer
Ms. L. B. Otamba Principal Tutor/Nursing Officer

キシイ 医療訓練校 (MEDICAL TRAINING CENTER KISHII)

Mr. Esther C. Karanja Deputy Principal Tutor
Mr. Handson Omare Tutor in Psychiatry
Ms. Monica Kariuki Tutor in Midwifery
Ms. Hellen Biwott Student

感染症対策研究所 (KEMRI)

Mr. D. M. Ngumo Chief Adomministrative Officer
Mr. Lawrence Gikaru Ag. Institute Engineer
Mr. Mutegi JICA専門家 細菌学
飯島 義雄 JICA専門家 細菌性下痢症
多賀 賢一郎 JICA専門家 寄生虫学
三井 義則 JICA専門家 ウイルス学
宇加江 進 JICA専門家 ウイルス学
遠藤 哲也 JICA業務調整
飯田 英作枝 JICA専門家 ウイルス学
栗澤 俊樹 JICA専門家 寄生虫学

人口教育促進プロジェクト (POPULATION EDUCATION PROMOTION PROJECT: PEPP)

佐藤 都喜子 Chief Advisor
松田 啓 Audio-Visual
Mr. Nicholas M. Simani T. V. Production/Director/Lecturer

ナイロビ 病院 (NAIROBI HOSPITAL)

Ms. M. Biffen Matron
Ms. Hartiey
Ms. Loice Thiota

ケニア看護協会 (NATIONAL NURSING ASSOCIATION OF LENYA)

Ms. Joyce O Musandu National Chairman
Ms. J. Muthoni Murithi Registra

DANIDA

Mr. Henning Frøtlund Counsellor, Deputy Head of DANIDA

カレン 医療訓練校 (MEDICAL TRAINING CENTER KAREN)

Ms. Waihenya Deputy Principal
Mr. Patrick Mwaura Accountant
Ms. Ann Mwangi Lecturer

791 医療訓練校 (MEDICAL TRAINING CENTER MATARE)
Mr. E. O. Onjoro Principal Tutor
Ms. J. Ngigi Deputy Tutor

MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
PRELIMINARY STUDY
ON
THE PROJECT
FOR
THE REHABILITATION AND IMPROVEMENT
OF
THE KENYA MEDICAL TRAINING COLLEGE
IN
THE REPUBLIC OF KENYA


In response to the request from the Government of the Republic of Kenya, the Government of Japan decided to conduct a preliminary study on the Project for the Rehabilitation and Improvement of the Kenya Medical Training College (hereinafter referred to as "the Project") and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (JICA).

JICA sent to Kenya the Preliminary Study Team (hereinafter referred to as "the Team"), which is headed by Mr. Mitsuru SUEMORI, Director, First Basic Design Study Division, Grant Aid & Study Department, JICA, and is scheduled to study in the country from April 7 to May 7, 1994.

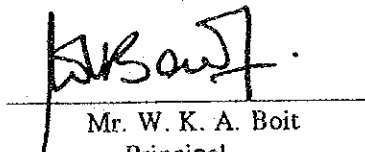
The Team held discussions with the officials concerned of the Government of Kenya and conducted field surveys at the study areas.

As a result of discussions and field surveys, both parties confirmed the main items described on the attached sheets.

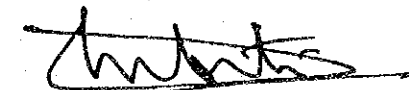
Nairobi, April 20, 1994



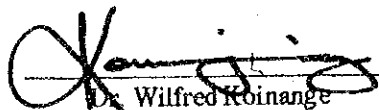
Mr. Mitsuru SUEMORI
Leader
Preliminary Study Team
JICA



Mr. W. K. A. Boit
Principal
Kenya Medical Training College
Ministry of Health



Mr. Daniel M. Mbiti
Permanent Secretary
Ministry of Health



Dr. Wilfred Koinange
Permanent Secretary
Ministry of Finance
The Republic of Kenya

ATTACHMENT

1. Definition of the Project Title

For the purpose of understanding between both parties, the old project title has been amended and a new one adopted as follows;

The old title:

The Project for the Improvement of the Teaching Equipments, Rehabilitation and Improvement of Physical Facilities for the Kenya Medical Training College

The new title;

The Project for the Rehabilitation and Improvement of the Kenya Medical Training College

2. Objective of the Project

The objective of the Project is to contribute to reinforce manpower of health sector in Kenya by improving the training equipments, rehabilitating and improving the physical facilities for KMTC, shown in Annex I.

3. Executing and Responsible Agencies of the Project

(1) KMTC is the executing agency of the Project.

(2) The Ministry of Health is the responsible agency of the Project.

4. Scope of Cooperation

(1) As a result of discussions with the Team, the following are requested by the Kenyan side;

(a) To rehabilitate and improve the physical facilities of KMTC (Nairobi, Karuri), MTC Mathare, and MTC Karen,

(b) To procure the training equipments to KMTC.

Both sides confirmed that "physical facility" and "training equipment" means "building" and "teaching equipment, teaching material, and transportation," respectively.

(2) The scope of cooperation covered by Japanese grant aid shall be determined according to the results of the further field surveys in Kenya and analyses in Japan, by taking into consideration of;

(a) Urgency and necessity of rehabilitation and improvement of the physical facilities

Don

PA

Kearns.

and the training equipments in accordance with the situation they are facing,

(b) Provision of appropriate levels and proper contents of education and training for students at KMTC in accordance with the demand in the country.

(3) The Following are necessary to study the viability of the Project;

(a) KMTC shall be autonomous as a self-governing institution by July 1994, under the KMTC Act, No. 14 1990 of Parliament.

(b) KMTC will work toward the establishment of the maintenance and operation system for the physical facilities and training equipments related to the Project at satisfactory levels, and assure the provision of adequate funds for maintenance and operation in the recurrent budget.

(c) KMTC shall submit all information on other donors' and organizations' supports related to the Project, and adjust, accordingly.

(d) KMTC shall ensure that the Project is reflected in the 1994 / 95 Forward Budget.

(e) KMTC shall inform the Japanese side of the progress of the above (a), (b) and (d) accordingly.

5. Basic Design Study of the Project

(1) After the viability of the Project is confirmed by the Government of Japan, a basic design study will be carried out.

(2) The scope of works of the basic design study will include;

(a) Technical survey,

(b) Management and financial survey,

(c) Basic design of physical facilities and training equipments for the Project,

(d) The implementation plan of the Project,

(e) Evaluation of the Project.

(3) For the implementation of the basic design study;

(a) KMTC shall submit the final report on Manpower Planning Project under the Kenya Health Rehabilitation Project,

(b) KMTC will provide necessary data and information, counterpart personnels, and permission from ministries, departments, and other organizations to the Basic Design Team.

(A) KARS.

Dunn

6. Japanese Grant Aid System

- (1) KMTC has understood the system of Japanese grant aid explained by the Team.
- (2) The Kenyan side will take necessary measures, described in Annex II for the smooth implementation of the Project, on the condition that Japanese grant aid is extended to the Project.

7. Technical Cooperation

In order to execute the Project most effectively, KMTC has strongly requested to the Japanese side to implement a technical cooperation, especially to dispatch Japanese experts and to accept trainers from Kenya.

8. Other Relevant Issues

The Kenyan side stated that KMTC would embark on the revision of curricula to incorporate the current global issues of AIDS / population / family planning, accordingly.

② *full*
Amn

Annex I KMTC

The Kenya Medical Training College (KMTC), consists of following 24 institutions;

1. KMTC (Nairobi, Karuri)

2. The Medical Training Centers (MTCs);

In Nairobi

(1) Karen

(2) Mathare

Provincial level

(1) Mombasa

(2) Machakos

(3) Nyeri

(4) Nakuru

(5) Kakamega

(6) Kisumu

District level

(1) Embu

(2) Meru

(3) Murang'a

(4) Thika

(5) Garissa

(6) Eldoret

(7) Kisii

(8) Homa Bay

(9) Kabarnet

(10) Matuga

3. The Hospital Maintenance Schools;


(1) Meru

(2) Eldoret

(3) Kilifi

(4) Loitokitok

4. The School of Clinical Medicine at Port Reitz

 *Paul. Omm*

Annex II
NECESSARY MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF KENYA ON CONDITION THAT JAPANESE GRANT AID IS EXTENDED;

1. To provide data and information necessary for the Project.
2. To provide the land for temporary site office, warehouse and stock yard during the implementation period.
3. To undertake incidental external works such as gardening, fencing, and making gates within and around the sites.
4. To provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities outside the sites.
5. To bear commissions to the Japanese foreign exchange bank for the banking services based on the Banking Arrangement.
6. To ensure prompt unloading and custom clearance at the port of disembarkation in Kenya and prompt internal transportation of the products purchased under the Grant Aid.
7. To exempt taxes including V. A. T. (value added tax), training levy and other fiscal levies for purchase and import of the products provided under the Grant Aid.
8. To exempt Japanese nationals involved in the Project from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in Kenya with respect to the supply of the products and the services under the verified contracts.
9. To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contracts such facilities as may be necessary for their entry into Kenya and stay therein for the execution of the Project.
10. To maintain and use properly and effectively the physical facilities rehabilitated and the training equipments purchased under the Grant Aid.
11. To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant Aid, necessary for rehabilitation and improvement of the physical facilities as well as for the transportation and installation of the training equipments.

Annex II
K.R.B.